

Pioneer

マルチエンタテインメントプレーヤー MEP-7000

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本機には、以下の3種類の説明書が付属しています。

MEP-7000 取扱説明書 (本書)

MEP-7000 DJSコントロールガイド (付属CD-ROM PDFファイル)

DJSユーザーズマニュアル (付属CD-ROM PDFファイル)

製品の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。付属のDJソフトウェア「DJS」をご使用される場合は、「DJSコントロールガイド」および「DJSユーザーズマニュアル」も合わせてお読みください。
これらの取扱説明書は、「保証書」、「サービス窓口のご案内」と一緒に保管してください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

<http://www.prodjnet.com/support/>

上記の弊社ホームページでは、困ったときのよくある質問やソフトウェアの情報など、お客様のお役に立てる最新のサービスを提供しております。

取扱説明書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
Recordable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
ReWritable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
GRAPHICS

DVD
R

DVD
RW

もくじ

もくじ.....	2	応用操作編.....	41
本機の特長.....	5	ループプレイ.....	41
仕様.....	9	キューポイント/ループポイントメモリー.....	41
付属品の確認.....	10	スクラッチプレイ.....	42
本機で再生できるディスク/ファイルについて.....	11	スピンプレイ.....	42
本機で再生できるディスクの種類.....	11	ジョグプレイクプレイ.....	42
MP3/AAC ディスクの再生について.....	12	EFFECT 画面.....	42
USB メモリーなどの USB ストレージデバイスの再生について.....	12	MIX 画面.....	45
MP3 ファイルについて.....	13	フェーダースタートプレイについて.....	47
AAC ファイルについて.....	13	ソフトウェア DJS について.....	48
WAV ファイルについて.....	14	ソフトウェア使用許諾契約書.....	48
AIFF ファイルについて.....	14	著作権についてのご注意.....	48
設置上のご注意.....	15	必要なシステム (最低動作環境).....	49
接続のしかた.....	16	DJS のインストール.....	49
ノーマルスタイルでの接続.....	16	試用期間とユーザー登録についてのご注意.....	51
マニピュレータスタイルでの接続.....	19	サポートサイトのご利用について.....	51
各部の名称と働き.....	20	免責事項.....	51
フロントパネル.....	20	ドライバソフトウェアについて.....	52
リアパネル.....	23	ソフトウェア使用許諾契約書.....	52
メディアの取り扱いについて.....	24	ドライバソフトウェアのインストール.....	52
ディスクの入れ方・出し方.....	24	DJ ソフトウェアを使用する.....	55
ディスクの強制イジェクトについて.....	24	DJ ソフトウェアの準備.....	56
USB ストレージデバイスへの管理データ書込.....	25	専用通信フォーマットを使って PC をコントロールする.....	56
USB ストレージデバイスの取り付け方・外し方.....	25	MIDI を使って PC をコントロールする.....	58
演奏を始める (ノーマルスタイルの場合).....	27	MIDI メッセージ一覧.....	60
BROWSE 画面.....	27	CD-G カラオケを楽しむ.....	62
ファイルブラウザとライブラリーブラウザ.....	28	CD-G 再生モードに入る.....	62
選曲をする.....	29	CD-G ディスクを再生する.....	62
現在再生中の曲の詳細を見る.....	30	CD-G 再生モードを終了する.....	63
M3U ファイル.....	30	UTILITY を使う.....	64
キーワードで曲を検索する.....	31	設定方法.....	64
USB キーボードを使用した選曲.....	32	各種設定.....	64
プレイリストを使う.....	35	ライブラリーを作成する.....	66
コントローラーの基本操作.....	37	ユーザーデータをバックアップする.....	66
ディスクのオートプレイ機能について.....	37	設定を工場出荷状態に戻す.....	67
演奏を終了するには.....	37	故障かな?と思ったら.....	68
演奏を一時停止するには.....	37	液晶画面について.....	71
ディスクのレジューム機能について.....	37	OEL(有機 EL)画面について.....	71
早送り/早戻しをするには.....	38	エラー表示.....	71
スキップするには.....	38	本機のアップデートについて.....	72
ジョグモードの切り換え.....	38	ソフトウェア制限事項一覧.....	72
ジョグダイヤルの機能.....	38	保証とアフターサービス.....	74
演奏スピードを変えるには.....	39	保証書について.....	74
マスターテンポをかける.....	39	補修用性能部品の保有期間.....	74
キューポイントの設定.....	39	修理を依頼されるとき.....	74
オートキュー機能.....	40	免責事項について.....	75
		ご相談窓口・修理窓口のご案内.....	裏表紙

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。

図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

警告

〔異常時の処置〕



● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔設置〕



● 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用製品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。



● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



● 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

〔使用環境〕



● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



● 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● 表示された電源電圧(交流100ボルト 50/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

〔使用方法〕



● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



● ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



● 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



● 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。



● 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

【設置】

-  ● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。
-  ● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
-  ● 電源プラグは、根元まで差し込んでみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。
-  ● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
-  ● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
-  ● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
-  ● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音がで聴力障害などの原因となることがあります。

-  ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
-  ● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
-  ● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
-  ● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

【使用方法】

-  ● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。
-  ● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。
-  ● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

-  ● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
-  ● お子様がかセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。
-  ● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
-  ● 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

【保守・点検】

-  ● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。
-  ● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ディスクの取り扱いについて

- 信号面を触らないようにしてください。



- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ノリなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

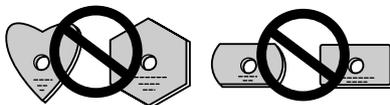


- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。



■ 特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

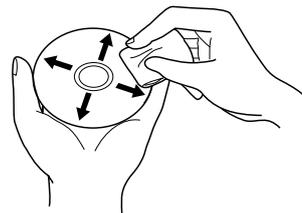


■ ディスクの保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。
- ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。



本機の特長

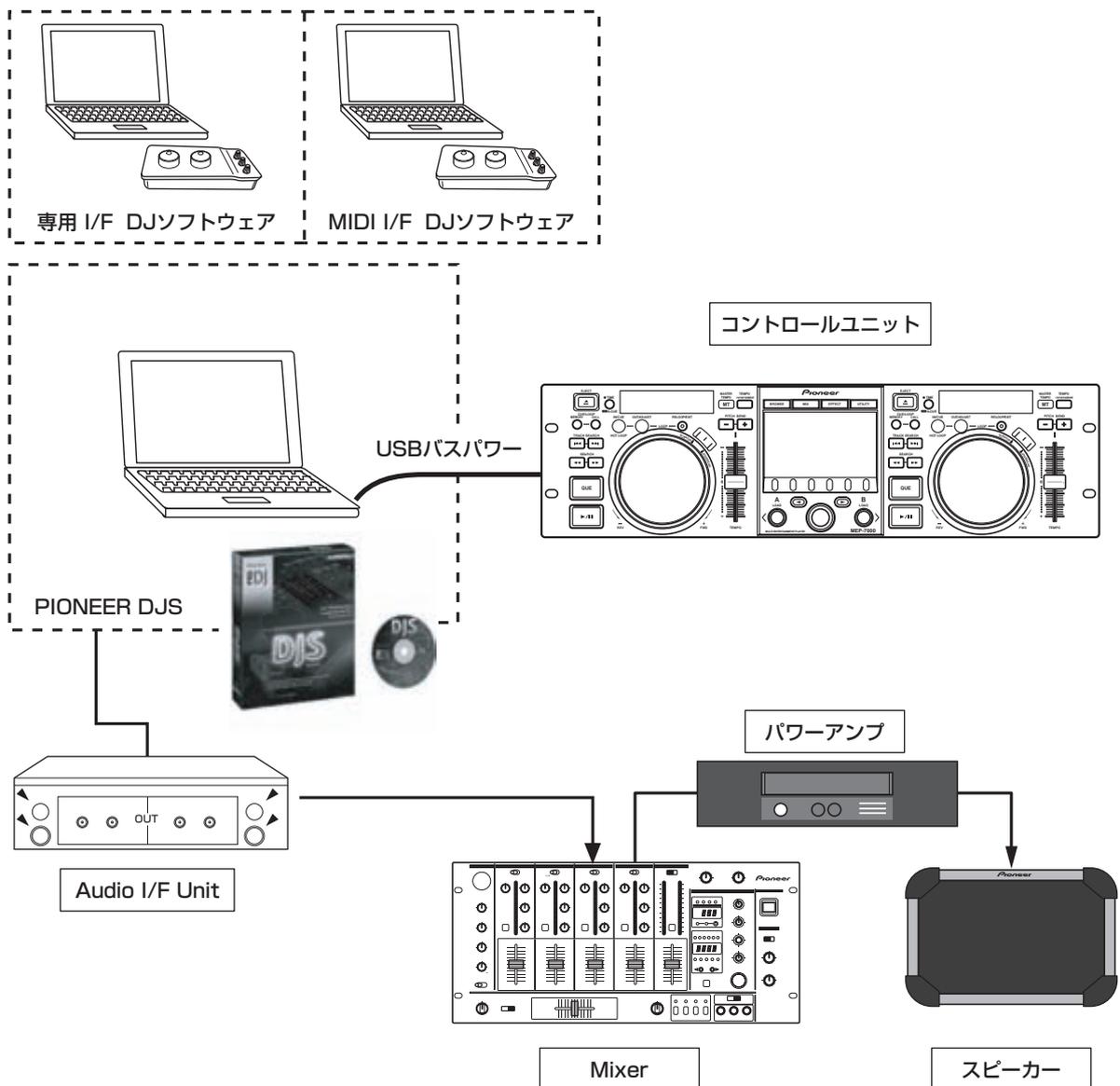
本機はパーティやイベント会場などで求められるさまざまなパフォーマンス機能と、優れた操作性を実現するプロモバイルDJ向けマルチエンタテインメントプレーヤーです。次世代のDJスタイルに対応する、ノーマルスタイルとマニピュレータスタイルの2通りのプレイスタイルを実現しました。

ノーマルスタイルでは、従来の音楽CD（CD-DA）に加え、USBメモリーやHDDなどのUSBストレージデバイスや、CD-ROM、DVD-ROMに記録された音楽ファイル（MP3、AACなど）を使ったDJプレイが可能です。また、付属のDJSをインストールしたパソコンと本機をつなぎ、本機をオーディオ出力デバイスとして（DJSで）設定すれば、USBストレージデバイスやディスクメディアの曲とパソコン内の曲とのシームレスなDJプレイが可能です。

このような特定のメディアを気にする必要のないメディア対応力とセンターディスプレイの優れたGUIにより、大量の音楽ライブラリーの中から目的の曲をすばやく簡単に探し出せたり、ミキサーでの双方の音声切り換えが不要になるのが魅力です。

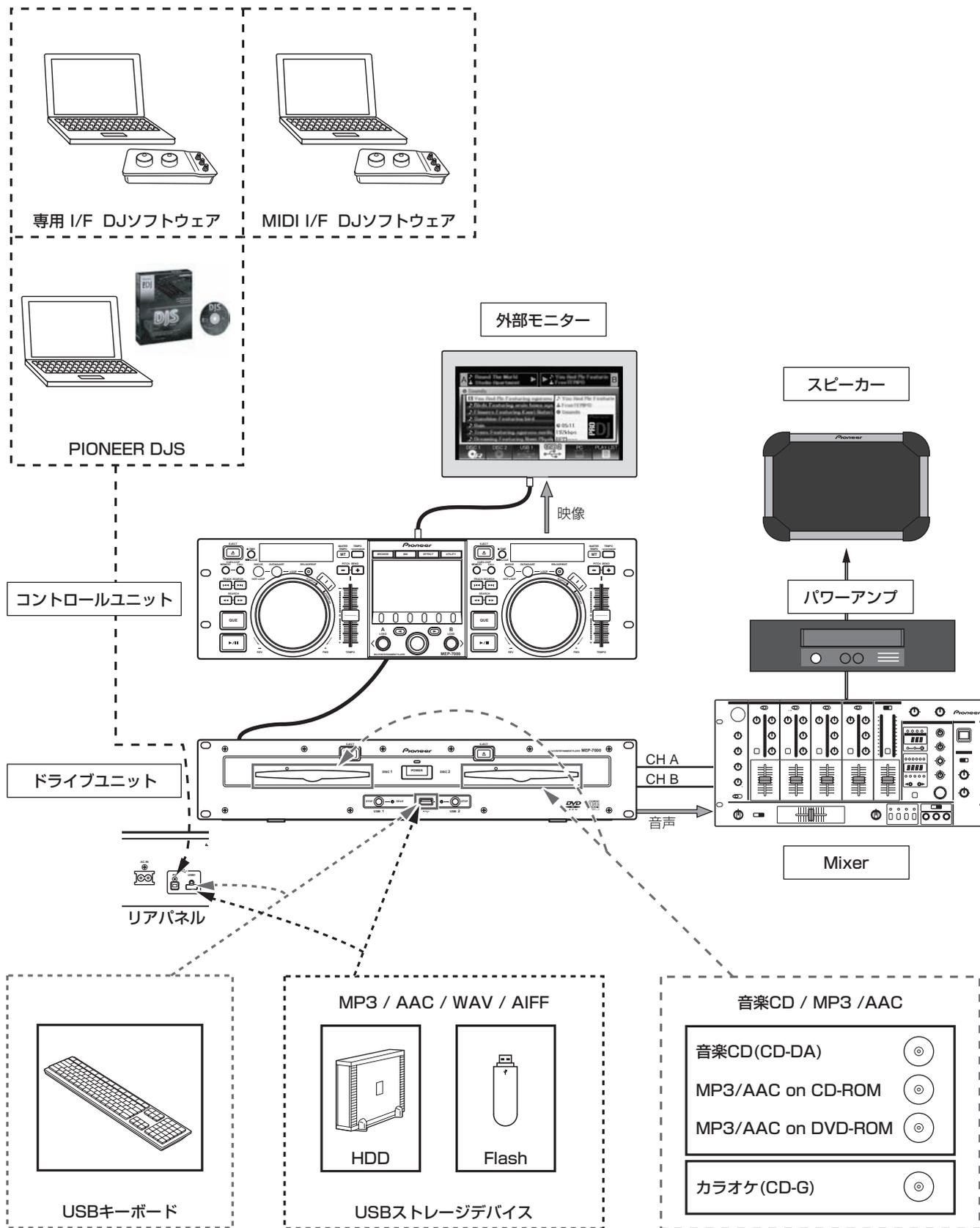
一方、パイオニアCDJシリーズのパネルレイアウト、機能、操作性を継承したコントロールユニットをパソコンにつなげれば（USBバスパワー）、付属のDJS内に取り込まれた音楽ファイルをマウスやキーボードの操作をすることなく本格的にDJプレイできるマニピュレータスタイルとなります。

マニピュレータスタイル



本機の特長

ノーマルスタイル



VARIOUS PLAYBACK READ

音楽 CD(CD-DA) や CD グラフィックス (CD-G) フォーマットで記録された CD-R/RW ディスクと、圧縮音楽ファイル (MP3/AAC) が記録された CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD±R 二層の再生が可能です (ディスク特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズなどにより正しく再生できない場合があります)。また、USB ストレージデバイスに記録された圧縮音楽ファイル (MP3/AAC/WAV/AIFF) の再生も可能です。

DJ SOFTWARE

BROWSE 画面のソースのひとつとして、付属の DJS を操作できるほか、他社 DJ ソフトウェアをコントロールディスクなしで自在に操作できたり、MIDI 対応の DJ ソフトウェアにも対応します。また、本機をオーディオ出力デバイスとして設定すれば本機から音声を出力できるので、ミキサーの方で他のソースと音声切り換えする手間がかかりません。

メモ

- ・ 本機はほぼすべてのボタンやテンポ調整つまみの情報を、USB の MIDI 形式や専用フォーマットで外部に出力することができます。本機で DJ ソフトウェアをコントロールするにはドライバソフトウェアをインストールする必要があります。
- ・ オーディオ出力用に専用 ASIO ドライバもご用意しています。
- ・ DJ ソフトウェアによっては、本機をオーディオ出力デバイスとして設定できないものもあります。
- ・ コントロールユニット単体では、本機をオーディオ出力デバイスとして設定できません。DJ ソフトウェアの操作のみです。

FUNCTIONABLE DISPLAY

センターディスプレイ

高輝度で視認性の高い 4.3 インチカラーワイド LCD ディスプレイを採用。優れたインテリジェント GUI とロータリーセレクターの組み合わせにより、ストレスのない選曲を可能にします。音楽ライブラリーはジャケット写真に対応します。

コントローラーディスプレイ A/B

曲の経過時間やテンポを表示するディスプレイには、高いレスポンスと広い視認性、高品位で定評のエリアカラーフルセグメント OEL ディスプレイを採用。センターディスプレイとともに幅広い照度環境下においても、ストレスのない DJ プレイが可能です。

PLAYLIST

USB ストレージデバイスやディスクメディアの音楽ライブラリーから、使いたい曲のみをプレイリストとして本体に登録できます。DJ プレイに使う曲を探すことなく選曲することが可能になります。

SCRATCH EFFECT

多彩なスクラッチ音の演奏が楽しめるスクラッチエフェクト 3 つの異なるスクラッチ音「SCRATCH」「TRANS」「BUBBLE」を搭載。通常のスクラッチ音に加え、新たなスクラッチパフォーマンスによって DJ プレイの幅が広がります。

JOG BREAK EFFECT

オリジナルな音の演出ができるジョグブレイクエフェクト

3 種類のリミックスアシスト機能「JET」「ROLL」「WAH」を搭載。好きな機能を選択し、ジョグダイヤルの回転に応じてエフェクトを自在にコントロールすれば、新たなリミックスの世界が広がります。

AUTO MIX

プレイリストに登録されている曲を 4 種類のミックスで自動的に再生し続けます。DJ ブースを離れるようなときでも、あたかも DJ がミキシングしているかのように音楽が自動でミキシング再生されます。

JOG DIAL

スクラッチ機能を搭載した、アナログターンテーブル感覚の操作を実現する直径 80 mm のジョグダイヤル

PITCH BEND

ジョグダイヤルの回転方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

SUPER FAST PITCH BEND

ピッチバンドボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のピッチバンドより速い速度変化が得られます。

FRAME SEARCH

ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム (1/75 秒) 単位でポーズ位置を移動できます。

SUPER FAST SEARCH

マニュアルサーチボタンまたはトラックサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチより速いサーチができます。

LIBRARY BROWSE

USB ストレージデバイスに記録された大量の曲にライブラリーを作成することで、曲をアルバム、アーティスト、ジャンルで分類し、スムーズな選曲およびキーワード検索が可能になります。

より簡単、便利に、パソコンでライブラリー作成できるライブラリー作成ソフトウェアは当社 Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.prodjnet.com/support/>

MONITOR OUT

センターディスプレイ上のブラウザ画面を外部の大画面モニターに出力することで、より見やすい操作が可能になります。また、CD-G カラオケの映像を出力します。

KEYBOARD SUPPORT

USB キーボードを接続すれば、曲名やフォルダ名でのインシヤル(先頭文字)ジャンプ機能や LIBRARY BROWSE でのキーワード検索機能で、スピーディな選曲を可能にします。またプレイリスト名の編集が可能です。

CD-G KARAOKE

手軽にカラオケが楽しめる CD-G ディスクの再生が可能です。外部の大画面モニターにカラオケ映像を出力できます。

TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ 60 mm の高性能スライダー

0.02 % 単位 (± 6 % レンジのみ) のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確に、より簡単にできます。

TEMPO CONTROL RANGE

最大可変範囲が ± 6 %、± 10 %、± 16 %、WIDE (WIDE は音楽 CD (CD-DA) のみ) の 4 段階に設定でき、より使いやすくなりました。

MASTER TEMPO

曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

CUE

BACK CUE

キューポイントをメモリーして音出した後キューボタンを押せば、キューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

CUE/LOOP MEMORY

キューポイントやループポイントを内蔵メモリーに記憶でき、呼び出すことができます。

AUTO CUE

曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイ/ポーズボタンで曲は瞬時にスタートします。

CUE POINT SAMPLER

メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループアウトポイントの修正がワンタッチで行える ADJUST モードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

HOT LOOP

ループ再生中に IN/CUE/HOT LOOP ボタンを押すと、ループインポイントに戻って再度ループ再生を開始します。

リズムに合わせてオンすることで、さまざまな可能性が広がります。

RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能

ループプレイの解除後に RELOOP/EXIT ボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、さまざまな可能性が広がります。

PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに曲終了が近くと点滅で警告します。

SLOT IN

トレイを出したり、ドアを開けることなしに直接ディスクを挿入できるので、クイックな頭出しができます。

FADER START

パイオニア製 DJ ミキサーと接続して、ミキサーのフェーダー操作により QUICK START や BACK CUE が行えます。

CD TEXT

CD TEXT 対応の音楽 CD (CD-DA) を再生すると、その CD に収録されたタイトル / アーティスト名 / アルバム名などのテキスト情報を活用できます。

LEGATO LINK

音楽 CD の再生では、CD フォーマットで失われる 20 kHz 以上の高音域を再生し、アナログレコードプレーヤに迫る高音質を再現する「レガートリンクコンバージョン」を搭載しています。

VIBRATION PROOF

「ショックブルーフメモリー」と当社製カーオーディオ (カロッツェリア) のフローディング構造を採用し、音飛びしにくい優れた耐振性を実現しました。

仕 様

1 一般

型番	MEP-7000
製品名	マルチエンタテインメントプレーヤー
ノーマルスタイル	
電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	22 W
マニピュレータスタイル	
電源	DC 5V(USB バスパワー)
消費電流	600 mA
消費電力	3 W
動作温度	+5 °C ~ +35 °C
動作湿度	5 % ~ 85 % (結露のないこと)
質量 (重量)	
コントロールユニット	1.7 kg
ドライブユニット	6.1 kg
最大外形寸法	
コントロールユニット	
	482.6 mm (幅) × 83.5 mm (奥行)
	× 133.0 mm (高さ)
ドライブユニット	
	482.6 mm (幅) × 324.6 mm (奥行)
	× 90.5 mm (高さ)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

2 USB アップストリーム部

端子..... USB B type 端子 (PC 端子)

USB ダウンストリーム部

端子..... USB A type 端子 (USB1/USB2 端子)
電源供給..... 5V /500 mA 以下 (端子あたり)

3 アナログオーディオ出力部

出力端子..... RCA 端子 (コントローラー A/B)
出力レベル..... 2.0 Vrms(1 kHz)
周波数特性..... 4 Hz ~ 20 kHz
SN比..... 115 dB 以上 (JEITA)
歪率..... 0.006 %以下 (JEITA)
※上記スペックは音楽 CD(CD-DA) の値です。

4 デジタルオーディオ出力部

出力端子..... RCA 端子 (コントローラー A/B)
出力方式..... 同軸デジタル (S/PDIF)
出力レベル..... 0.5 Vp-p(75 Ω)
出力フォーマット..... 44.1 kHz/16 bit

5 ビデオ出力部

出力端子..... RCA 端子
コンポジット出力レベル..... 1 Vp-p (75 Ω)

6 センターディスプレイ部

方式..... TFT 液晶 (LCD) アクティブマトリクス
サイズ..... 4.3 インチワイド
対応言語..... 英語 / 日本語 / 中国簡体字など 10 カ国語

7 コントローラーディスプレイ A/B 部

方式..... OEL(有機 EL) フルセグメント

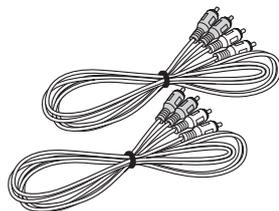
8 その他の端子

コントロールユニット
リモートコントロール端子..... ミニ DIN 10pin
5V 端子..... DC ジャック
ドライブユニット
リモートコントロール端子..... ミニ DIN 10pin
コントロール端子
..... ミニジャック (コントローラー A/B)

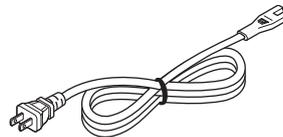
付属品の確認

付属品がそろっているかを確認します。

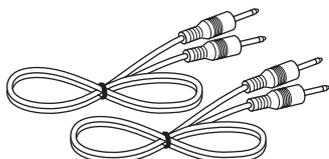
オーディオケーブル×2



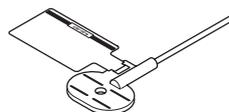
電源コード



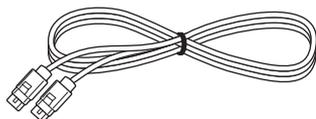
コントロールコード×2



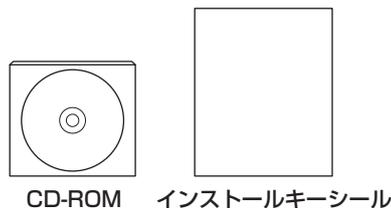
強制イジェクトピン



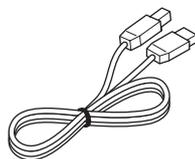
リモートコントロール専用ケーブル



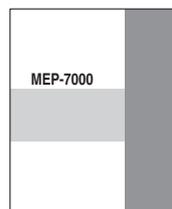
DJS 一式



USB ケーブル



取扱説明書（本書）



USB 補助電源ケーブル



保証書

梱包箱に貼り付けられています。

サービス窓口のご案内

☑メモ

- ・ 中国で販売される MEP-7000 には DJS 一式は付属していません。
- ・ 取扱説明書は本書を中心に 3 部で構成されています。ご使用方法に応じてお読みください。
 - MEP-7000 取扱説明書（本書）
まずは本書をお読みください
 - MEP-7000 DJS コントロールガイド（付属 CD-ROM PDF ファイル）
MEP-7000 と組み合わせて使用する基本的な操作方法
 - DJS ユーザーズマニュアル（付属 CD-ROM PDF ファイル）
DJS 全般の機能説明と操作方法

本機で再生できるディスク / ファイルについて

本機で再生できるディスクの種類

・以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク							
CD	CD-TEXT	CD-R	CD-RW	CD-G	DVD-R	DVD-RW	 はDVDフォーマット ロゴライセンシング (株) の商標 です。
							

■ ディスクの再生について

本機は音楽CD(CD-DA)やCDグラフィックス(CD-G)フォーマットで記録された CD-R/CD-RW ディスクと MP3/AAC ファイルが記録された CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD ± R 二層ディスクを再生することができます。

☑️ ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録した CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD ± R 二層ディスクを再生できないことがあります。(原因：ディスクの特性、キズ、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)
- パソコンで記録したディスクは、ライティングソフトウェアの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください。(詳細はソフトウェアの発売元にお問い合わせください。)
- 詳しいディスクの取り扱いについてはディスクの使用上の注意をご覧ください。

■ 本機で再生できないディスク

- CD DTS-CD
フォトCD
ビデオCD
未ファイナライズCD
- DVD DVDビデオ
DVD オーディオ
DVD-RAM
未ファイナライズDVD
MPEG 動画ファイル

■ バックアップディスク作成のすすめ

CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD ± R 二層ディスクは、長時間のポーズ (もしくはキュースタンバイ) 状態を続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。また、ループ機能を使用して特定の場所を極端に繰り返し再生した場合も同様の症状になる場合があります。

大切なディスクを使用される場合は、バックアップディスクの作成をお勧めします。

■ コピーコントロールCD について

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■ 「DualDisc」の再生について

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■ 8 cm シングルCDについて

8 cm シングルCDは再生できません。また、8 cm アダプターをCDに取り付けて本機で再生しないでください。ディスク回転中にアダプターが外れてディスクや本機を破損する恐れがあります。

■ 音楽CDのCD TEXTについて

本機はCD-TEXTに対応しています。CD-TEXTで記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。文字コードはASCII、ISO-8859、MS-JIS、Mandarin Chinese Character Codeに対応しています。複数のTEXT情報が記録されていた場合は、一番目のTEXT情報を表示します。

本機で再生できるディスク / ファイルについて

MP3/AAC ディスクの再生について

本機は圧縮音楽ファイル (MP3/AAC) が記録された CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R 二層、DVD+R 二層ディスクを再生できます。

フォルダ階層	最大 8 階層：8 階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
最大フォルダ数	ディスクあたり 2 000。2 000 を超えるフォルダは表示できません。
最大ファイル数	ディスクあたり 3 000。3 000 を超えるファイルは表示できません。
記録方式	ディスクは ISO9660 ファイルシステムで記録されたものに対応しています。 UDF ファイルシステムで記録した場合、ISO9660 ファイルシステムが合わせて記録されていないディスクは再生できませんのでご注意ください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。)

・フォルダやファイル数が多くなるほど起動時間は遅くなります。

USB メモリーなどの USB ストレージデバイスの再生について

お手持ちの USB ストレージデバイスを本機に接続することで、USB ストレージデバイスに記録されている MP3/AAC/WAV/AIFF ファイルを本機で再生することができます。

フォルダ階層	最大 8 階層：8 階層を超えるフォルダのファイルは再生できません。
最大フォルダ数	デバイスあたりのフォルダ数制限はありませんが、1 フォルダ内に 10 000 を超えるフォルダは表示できません。
最大ファイル数	デバイスあたりのファイル数制限はありませんが、1 フォルダ内に 10 000 を超えるファイルは表示できません。
対応ファイルシステム	FAT、FAT32、HFS+

☑メモ

- ・本機が対応している USB ストレージデバイスは外付けハードディスクや携帯フラッシュメモリー、デジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスに属する機器です。ただし、外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- ・フォルダやファイル数が多い USB ストレージデバイスを接続したときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- ・複数のパーティションを持つ USB ストレージデバイスの接続は、最初のパーティションのみ使用できます。

☑ご注意

△お使いの USB ストレージデバイスによっては正常に再生できない場合があります。また本機と接続したことで、USB ストレージデバイスのファイルが万一損失した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

- ・USB ハブを介した接続は動作しない場合があります。
- ・USB ハブを介して複数の USB ストレージデバイスを接続しても、2 番目以降に接続した USB ストレージデバイスは使用できません。
- ・フラッシュカードリーダー搭載 USB ストレージデバイスは動作を保証できない場合があります。
- ・2 本の USB ケーブルを使う USB ストレージデバイスを接続する場合は、いずれのケーブルも本機の USB 端子に接続してください。
- ・本機の USB 1 端子、または USB 2 端子に許容量以上の電流が流れると、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止める場合があります。その場合は本機のセンターディスプレイにメッセージが表示され、USB 1 と USB 2 の USB ストップインジケータが同時に赤点滅します。正常に復帰させるためには本機に接続されたすべての USB デバイスを外した後、いずれかの USB ストップボタンを 2 秒以上押してください。過電流が検出された USB ストレージデバイスの使用やバスパワータイプの USB ハブを介した USB ストレージデバイスの接続は避けてください。以上の方法で正常に通信しない場合は本機の電源を入れ直してください。

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルの種類には、固定ビットレート (CBR : Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR : Variable Bit Rate) があります。本機では CBR に加えて VBR も再生や DJ プレイが可能です。VBR では CBR に比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先する場合は CBR で記録することを推奨しています。

本機では下記フォーマットに従った MP3 ファイルに対応しています。

対応フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz、ビットレート 32 Kbps ~ 320 Kbps に対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz、ビットレート 16 Kbps ~ 160 Kbps に対応しています。
曲情報		ID3 タグ Ver1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。(*1) ID3 タグに埋め込まれた jpeg 画像をジャケット写真として表示します。(*2)
ファイル拡張子		.mp3

(*1) Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示するには、UTILITY で言語設定を行う必要があります。

(*2) 元画像が 800x800dot より大きいファイルは表示できません。

AAC ファイルについて

AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。

AAC データは、作成に使用したアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。

本機では、iTunes[®] によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生することができます。ただし iTunes MUSIC STORE 等で購入された著作権保護のかかった楽曲は再生することはできません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

本機では下記フォーマットに従った AAC ファイルに対応しています。

対応フォーマット	MPEG-4 AAC LE	サンプリング周波数 16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz、ビットレート 8 Kbps ~ 320 Kbps に対応しています。
曲情報	aac ファイル	ID3 タグ Ver1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 に対応しています。タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。(*1) ID3 タグに埋め込まれた jpeg 画像をジャケット写真として表示します。(*2)
	aac 以外	メタタグ (埋め込みタグ) に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。(*1) タグに埋め込まれた jpeg 画像をジャケット写真として表示します。(*2)
ファイル拡張子		.m4a、.aac、.mp4

(*1) Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示するには、UTILITY で言語設定を行う必要があります。

(*2) 元画像が 800x800dot より大きいファイルは表示できません。

本機で再生できるディスク / ファイルについて

WAV ファイルについて

本機では下記フォーマットに従った WAV ファイルに対応しています。

対応フォーマット	16 bit 非圧縮 PCM 方式、サンプリング周波数 44.1 kHz に対応しています。
曲情報	LST チャンクに対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。(*1)
ファイル拡張子	.wav

(*1) Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示するには UTILITY で言語設定を行う必要があります。

メモ

- ・ ディスクメディアに記録された WAV ファイルには対応していません。

AIFF ファイルについて

本機では下記フォーマットに従った AIFF ファイルに対応しています。

対応フォーマット	16 bit 非圧縮 PCM 方式、サンプリング周波数 44.1 kHz に対応しています。 タイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。(*1)
ファイル拡張子	.aif、.aiff

(*1) Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示するには UTILITY で言語設定を行う必要があります。

メモ

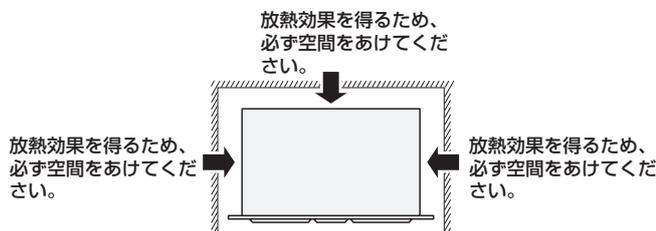
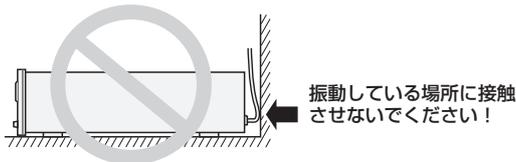
- ・ ディスクメディアに記録された AIFF ファイルには対応していません。

設置上のご注意

- ・ 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライトなどの近くで長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- ・ チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- ・ スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- ・ 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。
- ・ 本機の上に重いものを載せないでください。

また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではボンネットやオーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケース等に収納して使用する場合に注意してください。



EIA 標準ラックへの取り付け

本機のフロントパネル左右の取付穴は 19 インチの EIA 標準ラックに適合します。

コントロールユニットは 3U、ドライブユニットは 2U に適合しています。製品の奥行きは最大 324.6 mm です。

- ・ ラックに適合したネジを使用して確実に固定してください。（本機にはネジは付属していません。）

☑️ ご注意

- ・ パワーアンプのすぐ上に取り付けしないでください。アンプの発生する熱により故障する恐れがあります。また、ハムやその他のノイズを拾う恐れがあります。
- ・ 輸送する際は、本機をラックから取り外してください。取り付けたままの輸送には、本機故障の恐れがあります。
- ・ 本機をラックに取り付けたまま移動する際は、振動や衝撃が加わらないように慎重に行ってください。

移動について

■ 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。

ディスクを傷つける恐れがあります。

■ 本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

キャリングケースについて

ジョグダイヤルにはスイッチが内蔵されています。

キャリングケースに収納時に、ジョグダイヤルに力が加わらないようにしてください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。

このような場合には 1 時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されている CD レンズクリーナーには、レンズを破損する恐れのあるものもありますのでご注意ください。

ジョグダイヤルのお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはがれたり、くもったりすることがありますのでご注意ください。

接続のしかた

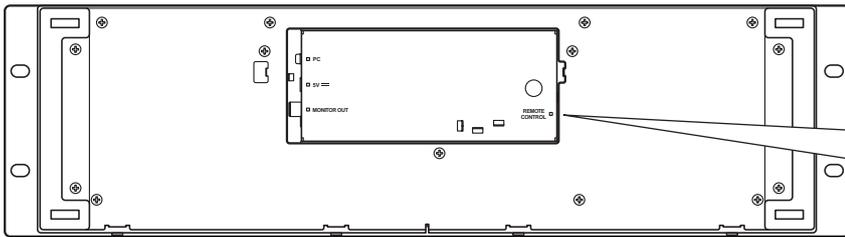
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。電源が入った状態で行うと故障の原因になります。

ノーマルスタイルでの接続

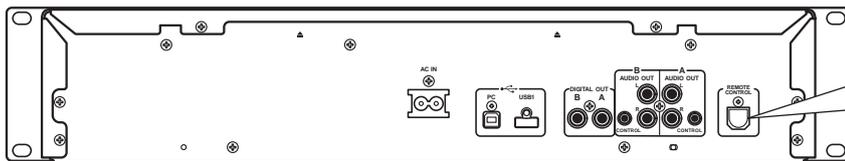
1 システムの接続

コントロールユニットとドライブユニットを付属のリモートコントロール専用ケーブルで接続します。カチッと音がするまでしっかり挿入してください。

コントロールユニット



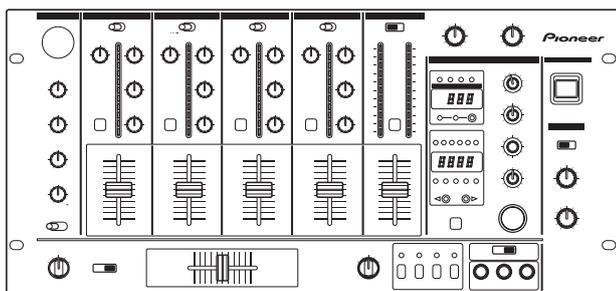
ドライブユニット



付属のリモート
コントロール
専用ケーブル

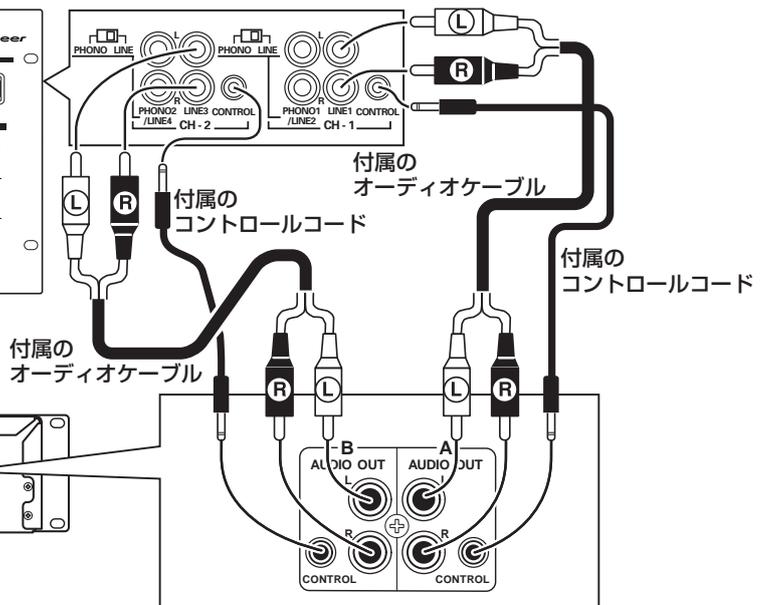
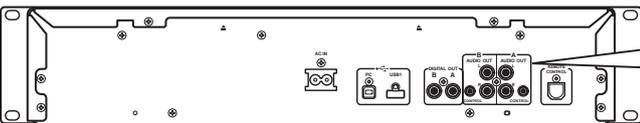
2 DJ ミキサー (DJM-3000/DJM-800) との接続 (音声出力およびコントロール端子の接続)

付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグは L (左) 端子へ、赤のプラグは R (右) 端子へつないでください。また、付属のコントロールコードを接続すると、パイオニア製 DJ ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。(リレープレイ中を除く)



DJM-3000

ドライブユニット

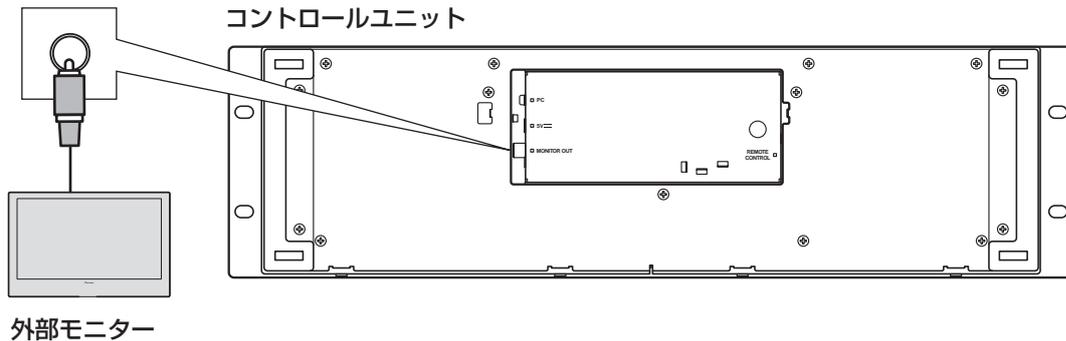


☑メモ

- ・ DJM-300、DJM-500、DJM-600 と接続する場合も上記と同様に CD1 とドライブユニットの A 側出力端子、CD2 とドライブユニットの B 側出力端子を付属のオーディオケーブルで接続してください。

3 外部モニターとの接続 (ピンジャック端子)

センターディスプレイを大画面で見たり、CD-G カラオケを楽しむ場合に接続します。本機と外部モニターを接続後は、本機の設定を変更する必要があります。(「UTILITY を使う」 [1]DISPLAY MONITOR OUT(P.64))



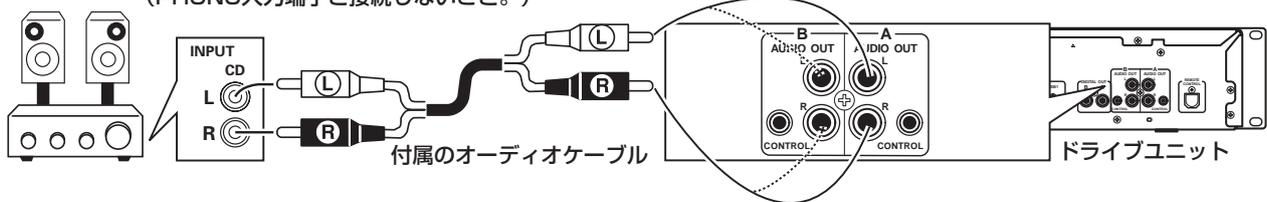
4 その他の機器との接続

A その他のミキサーとの接続

本機の AUDIO OUT 端子とミキサーのライン入力端子または AUX 端子を接続します。(PHONO 端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。)

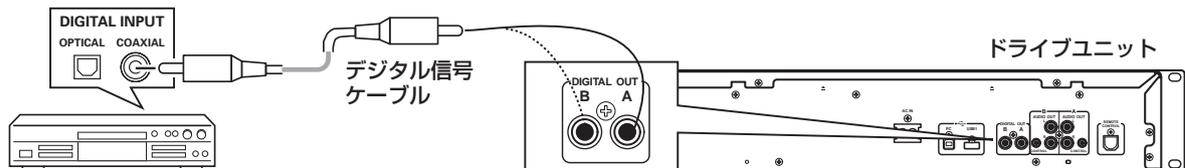
B ステレオアンプとの接続 (DJ ミキサーを使わない場合)

CD または AUX 入力端子と接続します。
(PHONO 入力端子と接続しないこと。)



C デジタル入力端子付き機器との接続

CDレコーダーまたはデジタル
入力付きアンプなど

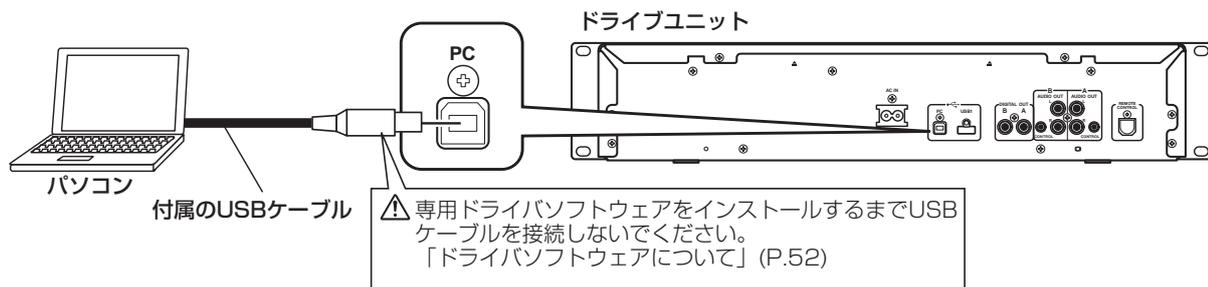


☑メモ

- ・ デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます。
- ・ CD レコーダーなど接続される機器によっては録音機能などが制限される場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。

5 パソコンとの接続

付属の DJS をはじめ、DJ ソフトウェアを使用する場合に接続します。



☑ ご注意

- 必ず付属の USB ケーブルを使ってください。

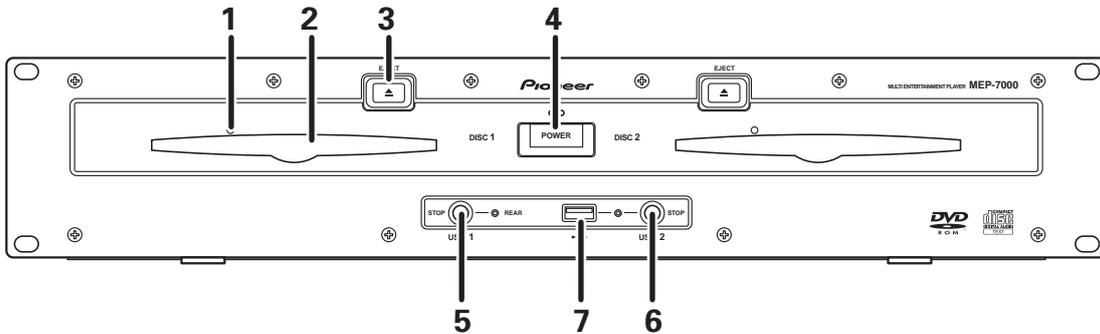
6 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、ドライブユニット後面にある AC IN に付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントまたはアンプの予備電源コンセントへ接続します。

各部の名称と働き

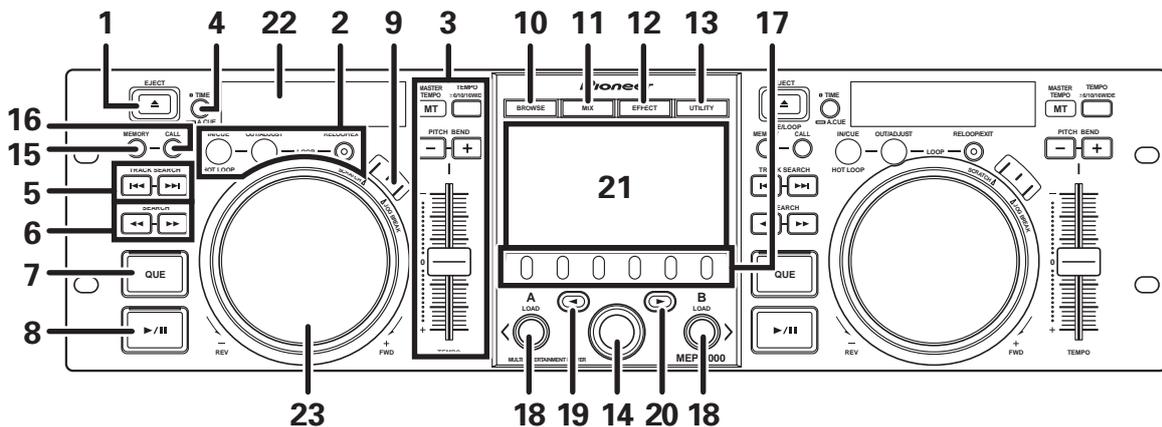
フロントパネル

ドライブユニット



- | | |
|--|--|
| <p>1 強制イジェクトホール (P.24)</p> <p>2 ディスク挿入口 (P.24)</p> <p>3 イジェクトボタン (EJECT ▲)</p> <p>キュー待機中またはポーズ中あるいはディスクから曲がロードされていない場合にボタンを押すと、ディスク挿入口よりディスクが出てきます。</p> <p>4 電源スイッチ (POWER) とインジケータ</p> <p>本機の電源をオン/オフします。</p> | <p>5 USB 1 ストップボタン (STOP) とインジケータ</p> <p>USB 1 端子から USB ストレージデバイスを取り外すときに押します。</p> <p>6 USB 2 ストップボタン (STOP) とインジケータ</p> <p>USB 2 端子から USB ストレージデバイスを取り外すときに押します。</p> <p>7 USB 2 端子 (A type)</p> <p>USB ストレージデバイス、または USB キーボードを接続します。</p> |
|--|--|

コントロールユニット



- | | |
|--|---------------------------------|
| <p>1 イジェクトボタン (EJECT ▲)</p> <p>キュー待機中またはポーズ中あるいはディスクから曲がロードされていない場合にボタンを押すと、ディスク挿入口よりディスクが出てきます。</p> | <p>2 ループ操作ボタン (LOOP) (P.41)</p> |
|--|---------------------------------|

3 テンポ操作部 (TEMPO)

テンポコントロールレンジ切替ボタン
(TEMPO ± 6 / 10 / 16 / WIDE) :

押すたびに、テンポ調整つまみの可変範囲が切り換わります。

マスターテンポボタン (MASTER TEMPO) と
インジケーター (MT) :

押すたびに、マスターテンポ機能がオン/オフに切り換わります。

テンポ調整つまみ (TEMPO) :

センタークリック位置 (通常演奏テンポ) を中心に、手前 (+) に動かすと速くなり、奥 (-) に動かすと遅くなります。

ピッチベンドボタン (PITCH BEND +, -) :

プレイ中に押すとピッチベンド動作します。+ ボタンを押すと加速され、- ボタンを押すと減速されます。

ボタンを押しながらジョグダイヤルを回転させると変化のスピードを変えられます。

4 タイムモード/オートキューボタン (TIME/A. CUE)

TIME :

押すたびに、表示部の時間表示が現在の演奏曲の経過時間と残り時間 (REMAIN) に切り換わります。

A. CUE: (P.40)

5 トラックサーチボタン

(TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶) (P.38)

6 サーチボタン (SEARCH ◀◀, ▶▶) (P.38)

7 キューボタン (CUE) とインジケーター

【キューポイントの設定】 (P.39)

【キューポイントサンプラー】 (P.39)

【バックキュー】 (P.39)

【キューポイントの修正】 (P.39)

8 プレイ/ポーズボタン

(▶/⏸) とインジケーター (P.37)

9 スクラッチ / ジョグブレイクボタン (SCRATCH/ JOG BREAK)

SCRATCH、JOG BREAK、OFF (両方のインジケーターを消灯) のいずれかのジョグモードを選択できます。

10 ブラウズボタン (BROWSE) (P.29)

BROWSE 画面に切り換えます。

11 ミックスボタン (MIX) (P.45)

MIX 画面に切り換えます。

12 エフェクトボタン (EFFECT) (P.42)

EFFECT 画面に切り換えます。

13 ユーティリティボタン (UTILITY) (P.64)

UTILITY 画面に切り換えます。

14 ローターセレクター

選曲や設定項目のカーソル移動は右回し / 左回しです。
プッシュで決定します。

15 キュー / ループメモリーボタン (CUE/LOOP MEMORY) (P.41)

キューポイントやループポイントを記憶します。
また、押し続けることにより消去します。

16 キュー / ループコールボタン (CUE/LOOP CALL) (P.41)

記憶されたキューポイントやループポイントを呼び出します。

17 ファンクションボタン (左から F1 ~ F6)

6 つのファンクションボタンに割り当てられる機能は、センターディスプレイに表示されている画面によって切り換わります。

BROWSE 画面では

「選曲をする」 (P.29)

MIX 画面では

「MIX 画面」 (P.45)

EFFECT 画面では

「【1】スクラッチエフェクト」 (P.42)

「【2】ジョグブレイクエフェクト」 (P.44)

UTILITY 画面では

「MIDI を使って PC をコントロールする」 (P.58)

「UTILITY を使う」 (P.64)

18 ロード A/B ボタン (LOAD A/B)

選曲された曲をコントローラー A/B にセットします。

19 セレクトアップボタン (◀)

押すたびに上の階層へ戻ります。

20 セレクトダウンボタン (▶)

押すたびに下の階層へ入ります。

21 センターディスプレイ (P.22)

22 ディスプレイ A / ディスプレイ B (P.22)

23 ジョグダイヤル (+ FWD / - REV) (P.38)

各部の名称と働き

センターディスプレイ



1 メイン表示部

BROWSE、MIX、EFFECT、UTILITYの4つのボタンで画面が切り換わり、ファンクションボタン、セレクトアップ(◀)/ダウン(▶)ボタン、LOAD A/Bボタン、ロータリーセクターで画面を操作します。

BROWSE 画面

選曲やプレイリストの作成を行うことができます。(P.29)

MIX 画面

PLAYLISTを使ったAUTO MIXなどMIX操作を行うことができます。(P.45)

EFFECT 画面

スクラッチプレイやジョグブレイクプレイで使用する各エフェクトを選択することができます。(P.42)

UTILITY 画面

本機の設定を行うことができます。(P.64)

2 ファンクションタブ

6つのファンクションボタンで切り換えることができる項目が表示されます。項目はメイン表示部に表示されている内容によって異なります。

3 A/B 曲情報表示部

コントローラーA/Bで再生中の曲情報と再生状態を表示します。



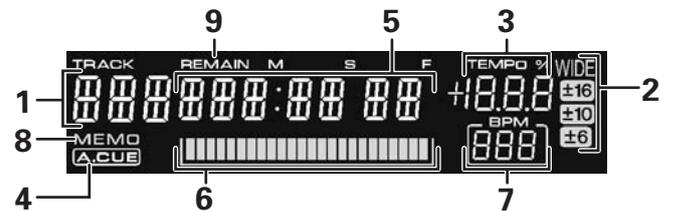
再生状態

	プレイ中を表します。
	ポーズ状態を表します。
	CUE 待機状態を表します。P.39「キューポイントの設定」参照

メモ

・タイトル、アーティスト名は西欧言語、ロシア語、簡体中国語、日本語の文字が表示できます。

ディスプレイA/ ディスプレイB



1 トラックナンバー表示

演奏中のトラックナンバーを表示します。

2 テンポコントロールレンジ表示 (±6、±10、±16、WIDE)

テンポ調整つまみの可変範囲モードを表示します。

3 テンポ変化率表示 (TEMPO)

テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を表示します。

4 A.CUE インジケーター

オートキュー機能オン時に点灯します。

5 時間表示

現在の演奏曲の経過時間 (REMAIN 消灯時)、または演奏曲の残り時間 (REMAIN 点灯時) を分 (M)、秒 (S)、フレーム (F) で表示します。

6 プレーイングアドレス

演奏曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールのバーグラフとして表示します。

- 経過時間表示の時： 全消灯、左端から順次点灯
- 残り時間表示の時： 全点灯、左端から順次消灯
- 曲の残りが 30 秒以下： 遅い点滅
- 曲の残りが 15 秒以下： 速い点滅

7 BPM 表示

演奏中の曲のBPMを表示します。

8 MEMO インジケーター

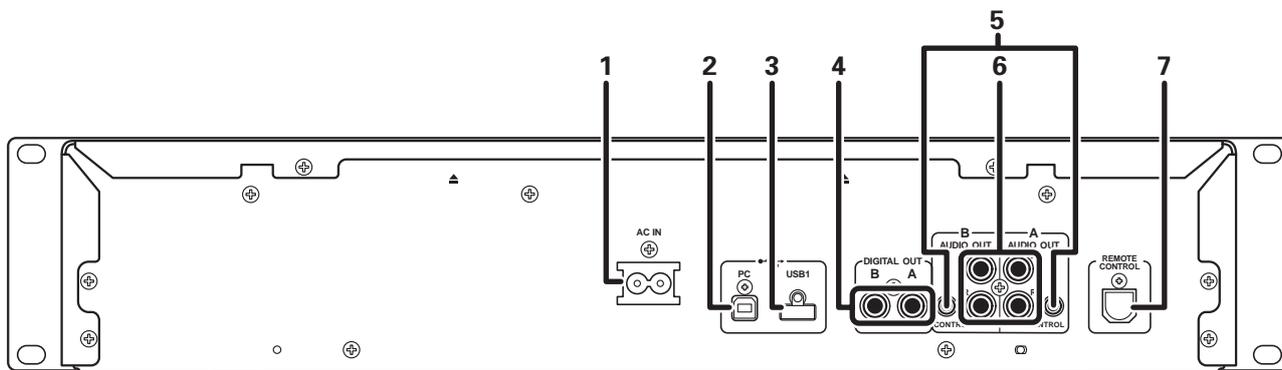
キュー/ループポイントが記憶されている場合に点灯します。

9 REMAIN インジケーター

曲残量時間表示時に点灯します。

リアパネル

ドライブユニット



1 ACインレット (AC IN)

付属の電源コードを使って壁の電源コンセントと接続します。

2 PC 端子 : USB 端子 (B type)

付属の USB ケーブルを使って、パソコンを接続します。

3 USB1 端子 (A type)

USB ストレージデバイスまたは USB キーボードを接続します。

4 デジタル出力端子 (DIGITAL OUT A/B)

デジタル入力対応の DJ ミキサーや AV アンプ、CD レコーダーなどを接続する RCA タイプの同軸デジタル出力端子です。DJ 機能を含めたすべての機能に対応した出力が得られますが、サブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます。

5 コントロール端子 (CONTROL A/B)

付属のコントロールコードを使って、パイオニアの DJ ミキサーと接続すると、DJ ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。また他の DJ プレーヤーのコントロール端子と接続して自動交互再生※ (リレープレイ) を行うことができます。

※DJ ソフトウェアの曲を選曲中はリレープレイができません。

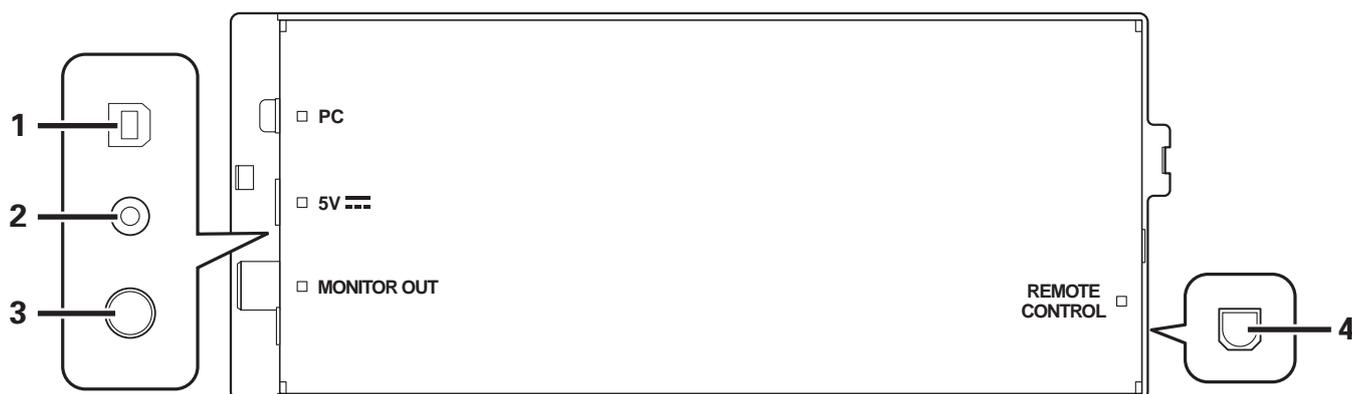
6 オーディオ出力端子 (AUDIO OUT A/B)

RCA タイプのアナログオーディオ出力端子です。

7 リモートコントロール端子 (REMOTE CONTROL)

付属のリモートコントロール専用ケーブルを使って本機のコントロールユニットと接続します。

コントロールユニット



1 PC 端子 : USB 端子 (B type)

付属の USB ケーブルを使ってパソコンを接続します。

2 5V 端子 (5V)

付属の USB 補助電源ケーブルを使ってパソコンと接続します。

3 ビデオ出力端子 (MONITOR OUT)

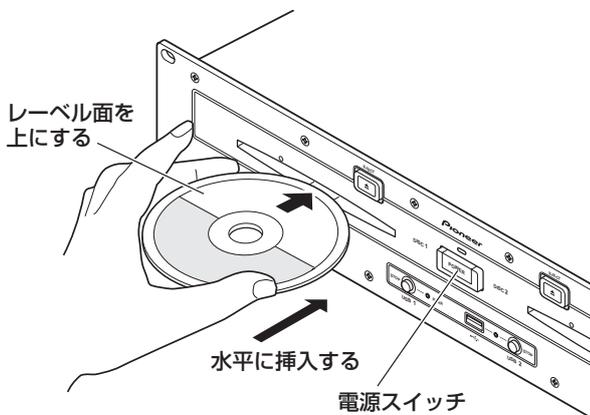
ビデオケーブルを使って外部モニターを接続します。

4 リモートコントロール端子 (REMOTE CONTROL)

付属のリモートコントロール専用ケーブルを使って本機のドライブユニットと接続します。

メディアの取り扱いについて

ディスクの入れ方・出し方



- 1 ドライブユニット部前面の電源スイッチをオンにする

☑️ ご注意

・電源スイッチがオフの状態でもディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因になります。

- 2 ディスクを入れる

- ・ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
- ・挿入できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
- ・ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や装置の故障の原因となります。

- 3 演奏中にプレイ / ポーズ (▶/⏸) ボタンを押す、または、キューポイントが設定されている場合は再生中に CUE ボタンを押して (バックキュー) から EJECT (▲) ボタンを押して、ディスクを取り出す

- ・ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。

☑️ ご注意

・「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECT (▲) ボタンを押して、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

ディスクの強制イジェクトについて

EJECT (▲) ボタンが機能しなくなり、ディスクを取り出せなくなったときに、ドライブユニット前面の強制イジェクトホールに付属の強制イジェクトピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。

強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。

- 1 必ずドライブユニットの電源を切り、1分以上待つ

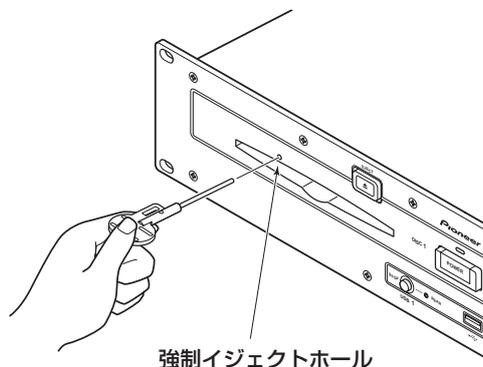


電源を切った直後に強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。

- ディスクが回転したままドライブユニットの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷が付きやすくなります。

- 2 必ず付属品のピンを使用してください (他のものは使用しないでください)

付属の強制イジェクトピンを強制イジェクトホールに根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口より 5mm ~ 10mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。



メディアの取り扱いについて

USB ストレージデバイスへの管理データ書込

本機はUSBストレージデバイスを使ったプレイを行う場合、各種管理データをそのストレージデバイス内に作成します。管理データには以下の 3 種類があり、PIONEER(HFS+フォーマットの場合は .PIONEER) という隠しフォルダの中に作成します。これらを削除すると本機で作成したキュー情報等が消去されてしまいますのでご注意ください。

■ CUE フォルダ

USB ストレージデバイスの曲のキューポイントメモリーを行うとキュー情報ファイルが作成されます。1 キューポイント当たり 200Byte の容量を使用します。

■ PLAYLIST フォルダ

USB ストレージデバイスの曲をプレイリストに登録するとプレイリスト情報ファイルが作成されます。1 プレイリスト当たり最大 100KByte の容量を使用します。

■ LIBRARY フォルダ

UTILITY 画面で「ライブラリーの作成」を行ったときに作成されます。一曲当たり数百 Byte ~約 1KByte の容量を使用します。

USB ストレージデバイスの取り付け方・外し方

■ インジケータの見方

USB ストップインジケータの状態を表します。

消灯	デバイス未接続
点灯	デバイスを認識した
点滅 (2 段階周期)	デバイス切断中 遅い点滅の状態ではボタンを放すとキャンセル扱いで切断しません。

本機との通信状態の確認は USB ストレージデバイスのステータスランプで行ってください。

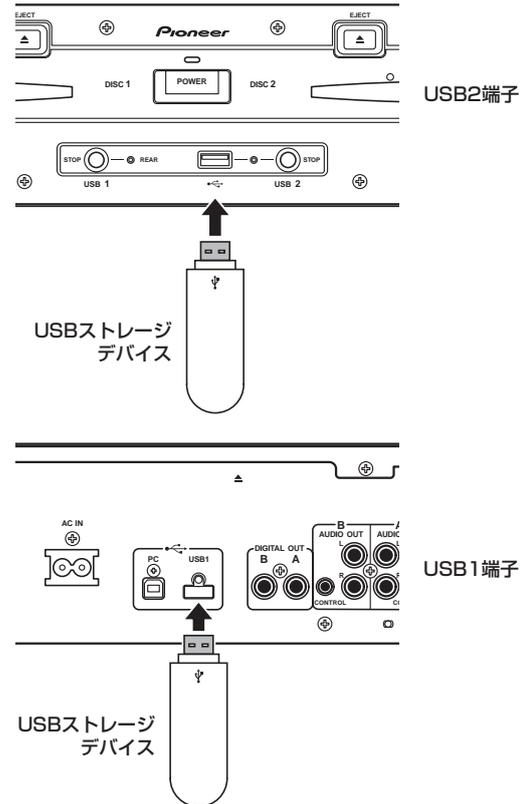
■ USB ストレージデバイスの取り付け方

お手持ちの USB メモリーなど USB ストレージデバイスを本機に接続すると、USB ストレージデバイスに記録されている音楽ファイルを読み込みます。

1 USB1 または USB2 端子に挿入する

2 インジケータの赤点灯を確認する

挿入した端子のインジケータが消灯から赤点灯になったことをフロントパネルで確認します。



✓メモ

- ・本機が対応している USB ストレージデバイスは外付けハードディスクや携帯フラッシュメモリー、デジタルオーディオプレーヤーなどのUSB マスストレージクラスに属する機器です。ただし、外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使用できません。
- ・フォルダやファイル数が多いUSB ストレージデバイスを接続したときは、読み込みに時間がかかることがあります。
- ・複数のパーティションを持つUSB ストレージデバイスの接続は、最初のパーティションのみ使用できます。

☑ご注意

⚠ お使いの USB ストレージデバイスによっては正常に再生できない場合があります。また、本機と接続したことで、万一 USB ストレージデバイスのファイルが損失した場合、USB ストレージデバイス本体が損傷した場合、当社は一切の責任を負うことができませんので、あらかじめご了承ください。

- ・ USB ハブを介した接続は動作しない場合があります。
- ・ USB ハブを介して複数の USB ストレージデバイスを接続しても、2 番目以降に接続した USB ストレージデバイスは使用できません。
- ・ フラッシュカードリーダー搭載 USB ストレージデバイスは動作を保証できない場合があります。
- ・ 2 本の USB ケーブルを使う USB ストレージデバイスを接続する場合は、いずれのケーブルも本機の USB 端子に接続してください。
- ・ 本機の USB 1 端子、または USB 2 端子に許容量以上の電流が流れると、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止める場合があります。その場合は本機のセンサーディスプレイにメッセージが表示され、USB 1 と USB 2 の USB ストップインジケータが同時に赤点減します。正常に復帰させるためには本機に接続されたすべての USB デバイスを外した後、いずれかの USB ストップボタンを 2 秒以上押ししてください。過電流が検出された USB ストレージデバイスの使用やバスパワータイプの USB ハブを介した USB ストレージデバイスの接続は避けてください。以上の方法で正常に通信しない場合は本機の電源を入れ直してください。

USB ストレージデバイスの外し方

1 USB ストップボタンを 2 秒以上押し続ける

2 インジケータの消灯を確認する

挿入した端子のインジケータが赤点減から消灯になったことをフロントパネルで確認します。

3 USB ストレージデバイスを外す

☑メモ

- ・ インジケータが消灯になったあと、再度 STOP ボタンを 2 秒以上押し続けると、USB ストレージデバイスを取り外すことなく再接続することができます。

☑ご注意

⚠ USB ストレージデバイスを取り外すときには、必ず上記 STOP 処理を行ってください。

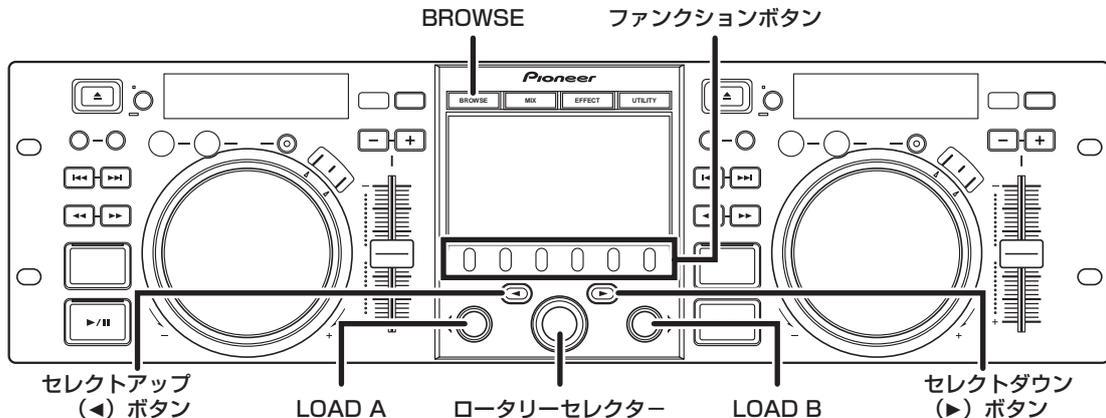
STOP 処理を行わずに取り外すと、キュー／ループメモリーやプレイリストの更新が正しく行われず、データが消えてしまう場合があります。また、USB ストレージデバイスが読み取り不能になるなど大きなダメージを与える場合もあります。

HDD デバイスの場合、使用中は振動や衝撃を与えないでください。

なお、本機の電源を切るときは、必ず USB ストレージデバイスを取り外してから電源を切ってください。

演奏を始める（ノーマルスタイルの場合）

MEP-7000 では、2 枚のディスク、2 つの USB ストレージデバイス、パソコン（DJソフトウェア）、プレイリストの 6 種類のソースからセンターディスプレイを使って選曲することができます。選択操作に必要なボタンを下図に示します。



BROWSE 画面

BROWSE ボタンを押すと以下のような BROWSE 画面が表示され、選曲に必要な情報を一度に確認することができます。

メモ

- ・ファイル / フォルダ名やタイトル / アーティスト名などの曲情報は西欧言語、ロシア語、簡体中国語、日本語の文字で表示します。
- ・文字が正しく表示されない場合は、UTILITY で LANGUAGE を適切な言語に設定してください。(P.65)



1 内容表示部	カーソルで選択されている行の内容を表示します。フォルダの場合はフォルダの内容、曲の場合は曲情報が表示されます。
2 A/B 曲情報表示部	コントローラーにセットされている曲のタイトルとアーティスト名、再生状態を表示します。
3 選択カーソル	ロータリーセレクターで上下に移動してフォルダや曲を選択します。

4 ブラウズウィンドウ	選択されているソースの内容を表示します。M3U ファイル、フォルダ、曲の順にそれぞれアルファベット順に表示されます。
5 上位階層名	ブラウズウィンドウに表示されている項目の上位フォルダ、またはソース名が表示されます。
6 ソース選択部	ファンクションボタンでウィンドウ内に表示するソースを切り換えます。
7 ジャケット写真表示部	ID3 タグに JPEG 画像が付加されている場合、もしくはフォルダ内に JPEG 画像がある場合は、選択カーソルが曲を選択しているときに内容表示部に画像が表示されます。

■ ソースアイコン

ソース選択部には以下のアイコンが表示されます。

	音楽 CD (CD-DA) ディスクを表します。選択するとディスクの内容が表示されます。
	CD-ROM/DVD-ROM を表します。選択するとディスクの内容が表示されます。
	選択すると USB ストレージデバイスの内容を表示します。
	選択すると DJ ソフトウェアのコントロールを行うことができます。(P.55)
	DJS が起動すると DJS アイコンに変わります。

演奏を始める（ノーマルスタイルの場合）

	選択するとプレイリストを表示します。（P.35）
---	--------------------------

■ ブラウズアイコン

ブラウズウィンドウに表示される項目の種類を表します。

	曲
	曲（メモリーキューあり）
	曲（コントローラー A で再生中）
	曲（コントローラー B で再生中）
	曲（両方のコントローラーで再生中）
	フォルダ
	m3u ファイルまたはプレイリスト
	アルバム
	アーティスト
	ジャンル

ファイルブラウズとライブラリーブラウズ

本機ではディスクや USB ストレージデバイス内のフォルダやファイルを書き込んだ構造と同じように表示し、その中をブラウズすることができます。このような表示方法をファイルブラウズと呼びます。

さらに USB ストレージデバイスの場合は ID3 タグなどの曲情報をもとにストレージデバイス内にライブラリーを作成することにより、曲をアルバム、アーティスト、ジャンルで分類し、スムーズな選曲をアシストします。このような表示方法をライブラリーブラウズと呼びます。ライブラリの作成方法については、ライブラリーを作成する（P.66）をご覧ください。

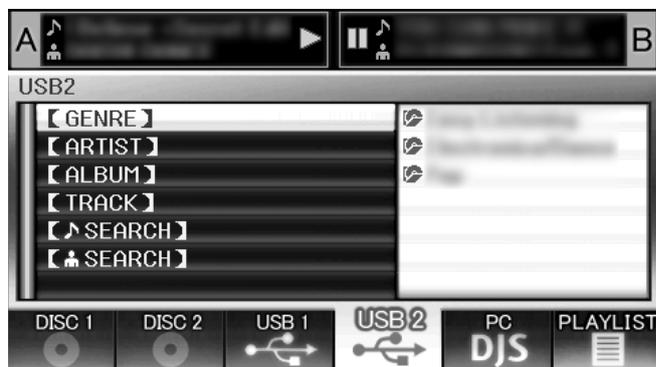
■ ファイルブラウズ

選択したソース中のフォルダやファイルを書き込んだ構造と同じように表示します。



■ ライブラリーブラウズ

画面は以下のように表示されジャンル、アーティスト名、アルバム名、タイトルから選曲します。



【GENRE】

ジャンル→アーティスト名→アルバム名→タイトルの順に辿って選曲することができます。

【ARTIST】

アーティスト名→アルバム名→タイトルの順に辿って選曲することができます。

【ALBUM】

アルバム名→タイトルの順にたどって選曲することができます。

【TRACK】

タイトルから選曲することができます。

【MUSIC SEARCH】

タイトルで検索して、選曲することができます。（P.31）

【PERSON SEARCH】

アーティスト名で検索して、選曲することができます。（P.31）

【ALL】

選択した【GENRE】と【ARTIST】の中に複数のフォルダがあった場合、【ALL】という項目が表示されます。【ALL】を選択すると同じ階層にある全項目の内容がまとめて表示されます。

演奏を始める (ノーマルスタイルの場合)

✓メモ

- ・ライブラリーブ라우저の場合は、すでにライブラリーが作成されているデバイスの場合でも、UTILITY の設定でファイルブラウズに切り換えることが可能です。(P.65)
- ・ジャンル、アーティスト名、またはアルバム名を持っていない曲はそれぞれのカテゴリー内で「unknown」という名前の中にまとめて表示されます。
- ・曲のタグにトラック番号が書かれていた場合は、アルバム内の曲はトラック番号順に表示されます。その他ジャンル、アーティスト、アルバムはアルファベット順に表示されます。

選曲をする

1 BROWSE ボタンを押す

BROWSE 画面が表示されます。

2 演奏したいソースを準備する

ディスクの場合

ドライブ 1 またはドライブ 2 にディスクを入れる。

USB ストレージデバイスの場合

USB1 または USB2 端子に USB ストレージデバイスを差し込む。

DJS の場合

ドライブユニットの PC 端子にパソコンを接続し、DJS を起動する。

✓メモ

- ・DJS の操作方法は「DJ ソフトウェアを使用する」(P.55) を参照してください。

3 ファンクションボタンを押して再生するソースを選ぶ

選択されたソースの内容がウィンドウ内に表示されます。USB ストレージデバイスにライブラリーがある場合はアルバム名やアーティスト名で選曲できます。

4 ロータリーセクターを回す

ブラウズウィンドウの選択カーソルが上下移動します。内容表示部には選択されているフォルダの内容や曲の情報が表示されます。

5 セレクトアップ (◀)/ ダウン (▶) ボタンで階層を移動する

フォルダが選択されているときは、ボタンを押す (またはロータリーセクターを押す) ことでそのフォルダの階層へ入ります。セレクトアップ (◀) ボタンを押すと 1 つ上のフォルダ階層へ戻ります。

6 LOAD A ボタン、または LOAD B ボタンを押す

コントローラー A、または B に曲がセットされ再生が始まります。

✓メモ

- ・音楽 CD(CD-DA) の場合、ドライブ 1 のディスクはコントローラー A、ドライブ 2 のディスクはコントローラー B にセットされます。コントローラーの指定はできません。
- ・LOAD LOCK が ON になっている場合、曲再生中のコントローラーに LOAD することはできません。プレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押してポーズするか、CUE ボタンを押してバックキューしてから LOAD ボタンを押してください。LOAD LOCK 機能の ON/OFF は UTILITY で設定することができます。(P.65)

■ TRACK MENU

曲が選択されているときにロータリーセクターを押すと、内容表示部に TRACK MENU が表示されロータリーセクターでメニュー項目を実行することができます。

	音楽 CD	音楽 CD 以外
【CANCEL】	TRACK MENU を抜けます。	
【LOAD A】	ドライブ 1 はコントローラー A、2 は B にセットします。	コントローラー A に曲をセットします。
【LOAD B】		コントローラー B に曲をセットします。
【ADD TO PLAYLIST】		PLAYLIST に曲を登録します。「PLAYLIST について」(P.35)
【DELETE MEMO CUE】	キュー/ループポイント情報を消去します。「キュー/ループポイントメモリーについて」(P.41)	

現在再生中の曲の詳細を見る

1 BROWSE、MIX、EFFECT、UTILITY の4つのボタンのうち選択されているボタンをもう一度押してオフにする

ソース名、タイトル、アーティスト、アルバム、ジャンル、トータル時間、ビットレート、BPM などの曲情報が表示されます。セレクトアップ (◀) ボタンを押すとコントローラーAで、セレクトダウン (▶) ボタンを押すとコントローラーBで、それぞれ現在再生中の曲があるフォルダへ画面を移動することができます。(INFORMATION JUMP)



M3U ファイル

本機では m3u 形式のファイルに対応しています。m3u という拡張子を持ったファイルはフォルダと同じように扱われ、カーソルで選択すると登録されている曲のリストが内容表示部に表示されます。



☑メモ

- ・ 1 デバイスあたり 100 個までの m3u ファイルを表示することができます。
- ・ 1 つの m3u ファイルあたり最大 300 曲まで表示することができます。ただし、ファイルサイズが 308 000 Byte を超えていた場合、超えている曲は表示できません。
- ・ HFS+ ファイルシステムの USB ストレージデバイスでは M3U ファイルには対応していません。
- ・ ディスクの場合、ショートファイル名で記述されているものには対応していません。

☑ご注意

- ・ 本機のライブラリー機能 (P.66 参照) を使ってブラウズするときには、m3u ファイルが表示されません。
- ・ m3u プレイリストにはさまざまな形式が存在するため、正常に動作しない場合もあります。

キーワードで曲を検索する

タイトルまたはアーティスト名で曲を検索できます。ロータリーセクターまたは USB キーボードを使用して文字を入力します。USB キーボードを使用して検索するときは、「USB キーボードを使用した選曲」(P.32)をご覧ください。

1 ロータリーセクターを回す

- ・ 検索したいカテゴリ【 SEARCH】または【 SEARCH】を選択します。

2 セレクトダウン(▶) ボタンまたはロータリーセクターを押す

- ・ 文字入力モードに入ります。

3 ロータリーセクターの操作で、文字を入力する

- ・ 入力文字数は最大 25 文字です。

セレクトアップ(◀) ボタン：1 つ前の文字を消去。

セレクトダウン(▶) ボタン：最後尾文字と同じ文字を入力して、次の入力文字位置へ。

ロータリーセクターを回す：大文字→数字→記号の順で文字を選択。

ロータリーセクターを押す：検索文字を確定させ、文字入力モードを抜け、検索を開始する。

4 検索文字入力が終わったらロータリーセクターを押す

- ・ 検索ヒット数が点滅し、検索を開始します。
- ・ 検索が終了すると、検索された曲が表示されます。
- ・ 検索ヒット数が点灯に変わり検索した曲数を表示し、検索した曲を一覧表示します。

5 検索した曲を LOAD する

- ・ ロータリーセクターで曲を選択し、LOAD A または LOAD B を押す。

☑メモ

- ・ 検索できる曲数は最大 3000 曲です。
- ・ 途中で検索を中断したいときは、USB ファンクションボタンを押してください。中断したときでも途中までの検索結果が表示されます。
- ・ 検索中に 1 つ上の階層に戻ったとき、またはデバイスを切り換えたときは、検索が中断されます。
- ・ 検索後に 1 つ上の階層に戻ったり、デバイスを切り換えたりしても、再度検索するまで検索結果は保持されます。
- ・ 再度検索するときは、セレクトダウン(▶) ボタンまたはロータリーセクターを押してメニューから【NEW SEARCH】を選択してください。
- ・ キーボードを使用しても検索できます。キーボードの操作については『キーボード入力対応表』(P.33)を参照してください。
- ・ 文字入力モード中にキーボードを接続しているときは、セレクトダウン(▶) ボタンおよびロータリーセクターでの操作ができません。
- ・ 【 SEARCH】または【 SEARCH】にカーソルがある場合は、LOAD および PLAYLIST への登録(一括登録)はできません。
- ・ 【 SEARCH】および【 SEARCH】を選択したときは、イニシャル(先頭文字)ジャンプ(P.32)はできません。
- ・ 検索結果から LOAD したときは 1 曲扱いになります。曲が終了したら次の曲へは変わらず、『END』が表示されません。
- ・ 検索結果から LOAD したときは INFORMATION JUMP (P.30) はできません。

☑ご注意

- ・ ライブラリーが作成されていないと、キーワード検索はできません。
- ・ ライブラリーが作成されていても、ライブラリーブラウザ以外ではキーワード検索はできません。

USB キーボードを使用した選曲

キーボードを接続すれば、曲名やフォルダ名をイニシャル（先頭文字）ジャンプする選曲や、タイトル、アーティスト名のキーワード検索、プレイリスト名の編集が行えます。USB1、または USB2 端子にキーボードを接続してください。

■曲名、フォルダ名のジャンプ

- 1 TAB キーで BROWSE 画面を選択する
- 2 F1 ～ F4 キーか F6 キーでソースを選択する
付属の「DJS」をはじめ DJ ソフトウェアの選曲はできません。
PLAYLIST は第一階層（プレイリスト名）より下の階層であればジャンプできます。
- 3 選曲したい曲名の文字を順次入力する
入力した文字列に一致した曲にカーソル移動します。
フォルダ階層であればフォルダも同様にジャンプします。
- 4 カーソルを合わせた曲を ENTER キーで決定する
トラックメニューを表示します。
- 5 ↓キーで「LOAD A（または LOAD B）」を選択し、ENTER キーを押す
演奏がスタートします。

■タイトル、アーティスト名のキーワード検索

- 1 TAB キーで BROWSE 画面を選択する
- 2 F11 キーか F12 キーで【 SEARCH】または【 SEARCH】を選択する
- 3 タイトルまたはアーティスト名の文字を順次入力し、ENTER キーで決定する
入力した文字列が含まれるタイトルおよびアーティスト名が表示されます。
- 4 カーソルを合わせた曲を ENTER キーで決定する
トラックメニューを表示します。
- 5 ↓キーで「LOAD A（または LOAD B）」を選択し、ENTER キーを押す
演奏がスタートします。

■プレイリスト名の編集

- 1 TAB キーで BROWSE 画面を選択する
- 2 F6 キーでプレイリスト画面を選択する
- 3 編集したいプレイリストを ↓キーで選択する
- 4 shift+ENTER キーで決定する
プレイリストメニューを表示します。

- 5 ↓キーで「RENAME」を選択し、ENTER キーを押す
プレイリスト名を編集できる状態になります。
- 6 プレイリスト名を編集する
入力文字数は最大 32 文字です。
- 7 編集が終わったら ENTER キーを押す
プレイリストが点滅し書き換え完了です。
その他のキーボード操作についてはキーボード入力対応表（P.33）をご覧ください。

演奏を始める（ノーマルスタイルの場合）

キーボード入力対応表

入力キー	曲名、フォルダ名のジャンプ、キーワード検索	プレイリストの編集
アルファベット	【文字入力モード】 文字入力	【文字入力モード】 文字入力
数字	【文字入力モード】 文字入力	【文字入力モード】 文字入力
記号	【文字入力モード】 文字入力	【文字入力モード】 文字入力
SPACE	空白入力	空白入力
ENTER	選択されたカーソルの下位階層に入る	編集の決定
	曲にカーソルがある場合は MENU 画面を開く	
	キーワード検索では、検索開始	
Shift+ENTER	曲にカーソルがある場合は曲を PLAYLIST へ登録	PLAYLIST（第 1 階層）にカーソルがある場合は MENU 画面を開く
	キーワード検索では、検索開始	
	フォルダーにカーソルがある場合はフォルダー内の曲を PLAYLIST へ登録	
Home	リスト最上位置にカーソルジャンプ	—
End	リスト最下位置にカーソルジャンプ	—
Page Up	リストのページめくり（上に 7 個分）	—
Page Down	リストのページめくり（下に 7 個分）	—
↑	上へ移動（カーソル）	上へ移動（カーソル）
↓	下へ移動（カーソル）	下へ移動（カーソル）
→	選択されたカーソルの下位階層に入る	【文字入力モード】 最後尾文字と同じ文字を入力して次の入力文字位置へ
←	選択されたカーソルの上位階層に上る	【文字入力モード】 最後尾文字を消去（先頭文字を消去してもモードを抜けない）
Back Space	【文字入力モード】 最後尾文字を消去（曲名、フォルダ名のジャンプでは、先頭文字消去で通常モードへ退避）	【文字入力モード】 最後尾文字を消去（先頭文字を消去してもモードを抜けない）
Shift + Back Space	【文字入力モード】 ・ 曲名、フォルダ名のジャンプでは、最後尾文字を消去。また先頭文字消去で通常モードへ退避 ・ キーワード検索では、全文字を消去	【文字入力モード】 全文字を消去（先頭文字を消去してもモードを抜けない）
Delete	【文字入力モード】 最後尾文字を消去（曲名、フォルダ名のジャンプでは、先頭文字消去で通常モードへ退避）	・ 【文字入力モード】 最後尾文字を消去（先頭文字を消去してもモードを抜けない） ・ 通常時は項目（PLAYLIST 内の曲）の削除
F1	DISC1 タブを開く	
F2	DISC2 タブを開く	
F3	USB1 タブを開く	
F4	USB2 タブを開く	
F5	PC タブを開く	
F6	PLAYLIST タブを開く	
F7	ライブラリーブラウズ 画面で、【GENRE】に移動（P.34 メモ参照）	
F8	ライブラリーブラウズ 画面で、【ARTIST】に移動（P.34 メモ参照）	
F9	ライブラリーブラウズ 画面で、【ALBUM】に移動（P.34 メモ参照）	
F10	ライブラリーブラウズ 画面で、【TRACK】に移動（P.34 メモ参照）	
F11	ライブラリーブラウズ 画面で、【  SEARCH】に移動 また【  SEARCH】中は、入力文字全消去（P.34 メモ参照）	

演奏を始める（ノーマルスタイルの場合）

F12	ライブラリーブラウザ 画面で、  【SEARCH】に移動 また  【SEARCH】中は、入力文字全消去（P.34 メモ参照）
Esc	【文字入力モード】通常モードへ退避
TAB	MODE ボタンの切替（右方向へトグル動作）
Shift+TAB	MODE ボタンの切替（左方向へトグル動作）
Ctrl	—
Alt	—

メモ

- ・ 全角文字は対応していません。また編集モードでの文字検索はできません。
- ・ キー入力が正しく行えない場合は UTILITY で KEYBOARD LANGUAGE を適切な言語に設定してください。（P.65）
- ・ USB キーボードを接続しても USB ストップインジケータは消灯のままです。
- ・ F7～F12 キーは、ライブラリーが作成されていないと機能しません。ライブラリーの作成方法については「ライブラリーを作成する」（P.66）をご覧ください。

ご注意

- ・ お使いの USB キーボード、USB ハブによっては正常に動作しない場合があります。

演奏を始める (ノーマルスタイルの場合)

プレイリストを使う

本機ではプレイしたい曲をあらかじめプレイリストに登録しておけば、大量の曲が入ったディスクや USB ストレージデバイスを接続してすばやい曲選択ができます。

プレイリストは 20 個まで作成でき、各プレイリストに複数の USB ストレージデバイスや CD-ROM/DVD-ROM からデバイスをまたいで最大 150 曲まで登録できます。

メモ

- ・ 音楽 CD (CD-DA) の曲と DJ を含む DJ ソフトウェアの曲は登録できません。
- ・ 作成したプレイリストは電源を切った後も記憶され、後で再利用することができます。
- ・ USB ストレージデバイスから曲をプレイリストに登録するとストレージデバイス自身にプレイリスト情報を書きこみます。

■プレイリストの画面構成

プレイリスト一覧の表示

ファンクション (F6) ボタンを押すと、プレイリストの一覧が表示されロータリーセクターを使ってプレイリストを選択できます。アイコンがオレンジ色のプレイリストは MIX 用として選択されていることを表します。(P.45)



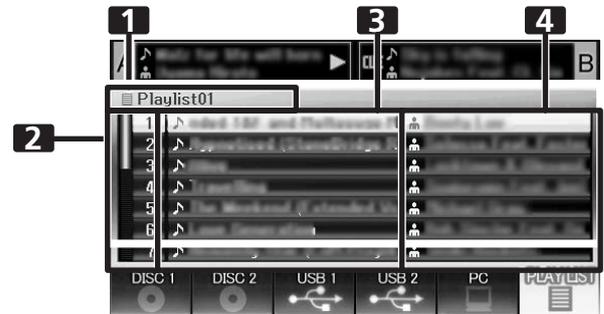
また、プレイリストを選択してロータリーセクターを 1 秒以上押しと右側のウィンドウにプレイリストメニューを表示します。



プレイリストを開いているとき

プレイリストに登録された曲は通し番号がつけられ、タイトル、アーティスト名で表示されます。タイトルがない場合はファイル名で表示されます。

曲の登録元の USB ストレージデバイスや CD-ROM/DVD-ROM が接続されていないときは、その曲の表示はグレースアウトされます。



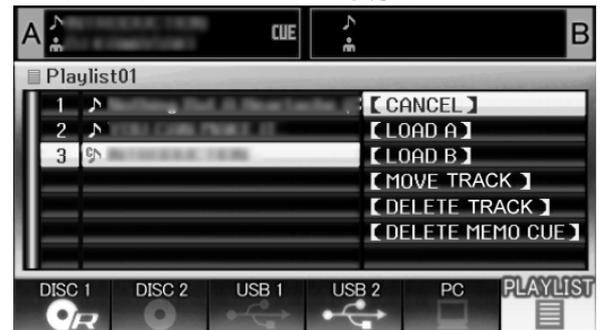
1 プレイリスト名

2 通し番号

3 タイトル

4 アーティスト名

また、曲を選択してロータリーセクターを押すと右側のウィンドウにトラックメニューを表示します。



演奏を始める（ノーマルスタイルの場合）

■ プレイリストに曲を登録する

- 1 USBストレージデバイスやCD-ROM/DVD-ROM内の曲またはフォルダをカーソルで選択する。
- 2 ロータリーセレクターを1秒以上押す。
 - ・カーソルが点滅して、現在開いているプレイリストに曲が登録されます。
 - ・1プレイリストに登録できる最大曲数は150曲です。
 - ・フォルダでまとめて登録する場合は時間がかかる場合があります。
 - ・曲登録中はPLAYLISTタブが点滅します。点滅中はPLAYLISTを開くことができません。

✔注意

- ・USBストレージデバイス内に十分な空き容量がないときはUSBストレージデバイス内の曲を登録することはできません。

■ プレイリストから曲を再生する

- 1 プレイリストを開く
- 2 ロータリーセレクターで曲を選び、LOAD A または LOAD B ボタンを押す
 - ・プレイリストの通り番号順に曲が再生されます。
 - ・プレイリストから曲を再生中も、プレイリストへの曲の登録および編集ができます。

■ プレイリストの曲順入れ換え

- 1 開いているプレイリストから移動したい曲を選ぶ
- 2 ロータリーセレクターを押す
 - ・右ウィンドウにメニューが表示されます。
- 3 ロータリーセレクターで「MOVE TRACK」を選び、ロータリーセレクターを押す
 - ・黄色いラインが表示されます。
- 4 曲を挿入したい位置までロータリーセレクターを回す
- 5 ロータリーセレクターを押す
 - ・手順1で選んだ曲が、手順4で選択した黄色いラインの位置に挿入され、プレイリスト表示に戻ります。

■ プレイリストから削除する

- 1 プレイリストから削除する曲を選ぶ
- 2 ロータリーセレクターを押す
 - ・右ウィンドウにメニューが表示されます。
- 3 ロータリーセレクターで「DELETE TRACK」を選び、ロータリーセレクターを押す
 - ・プレイリストから曲が削除されます。
 - ・コントローラーにセットされている曲は削除できません。

■ プレイリストを閉じる

- 1 プレイリストを開いているときにセレクトアップ(▲)ボタンを押す

■ プレイリストの消去

プレイリストに登録されている全ての曲をプレイリストから消去します。

- 1 プレイリスト名を選択する
- 2 ロータリーセレクターを1秒以上押す
「CANCEL」、「RENAME」、「ALL TRACK CLEAR」メニューが表示されます。
- 3 ロータリーセレクターを回して「ALL TRACK CLEAR」を選ぶ
- 4 ロータリーセレクターを押す
登録されたすべての曲がプレイリストから消去され、プレイリストが空になります。
 - ・コントローラーにセットされている曲がプレイリスト内にある場合は消去できません。

■ プレイリストの保存

プレイリストへの曲登録や削除、編集を行うと自動的にプレイリストが保存されます。（内容変更後、約5秒間変更がなければ保存します。）

✔注意

- ・プレイリストの変更直後に本機の電源を切ると、プレイリストの変更が反映されないことがありますのでご注意ください。

■ プレイリストの名前を編集する

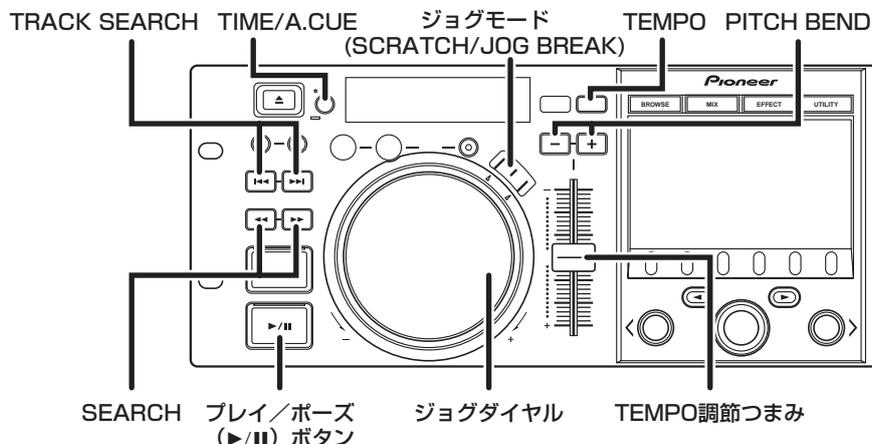
- 1 プレイリストを選ぶ
- 2 ロータリーセレクターを1秒以上押す
 - ・センターディスプレイ内の右側にメニューが表示されます。
- 3 ロータリーセレクターで「RENAME」を選び、ロータリーセレクターを押す
 - ・編集モードに入ります。
- 4 ロータリーセレクターの操作で、プレイリストの名前を編集する
 - ・入力文字数は最大32文字です。
 - セレクトアップ(▲)ボタン：1つ前の文字を消去。
 - セレクトダウン(▼)ボタン：最後尾文字と同じ文字を入力して次の入力文字位置へ。
 - ロータリーセレクターを押す：編集内容を保存して、編集モードを抜ける。
 - ロータリーセレクターを回す：大文字→小文字→数字→記号の順に文字を選択。
- 5 編集が終わったらロータリーセレクターを押す
 - ・プレイリストが点滅し、書き換えが完了します。

✔メモ

- ・全角文字は対応していません。
- ・キーボードを使った編集は「USBキーボードを使用した選曲」(P.32)を参照してください。

コントローラーの基本操作

センターディスプレイで選曲し、LOAD A ボタンで曲がロードされると、その後のプレイはコントローラー A で行います (LOAD B ボタンでロードしたときはコントローラー B)。ディスク挿入の場合はオートプレイが働きます。



ディスクのオートプレイ機能について

ドライブ 1 にディスクが入れられたとき、コントローラー A に曲がセットされていなければ、自動的に曲がセットされ再生を開始します。

同様にドライブ 2 のディスクはコントローラー B にセットされ再生を開始します (音楽 CD(CD-DA) の場合は 1 曲目、CD-ROM/DVD-ROM の場合は本機が最初に見つけた曲がセットされます)。ただし、オートキューの設定がオンのときは、キュー待機状態になります。(P.40)

- ・ USB ストレージデバイスが挿入されたときはオートプレイは行いません。

演奏を終了するには

1 演奏中にプレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押す、または、キューポイントが設定されている場合は再生中に CUE ボタンを押して (バックキュー) から EJECT (▲) ボタンを押す。

- ・ ディスクの回転を停止し、ディスクをはき出します。
- ・ 本機には再生停止ボタンはありません。
- ・ ディスクを演奏中は EJECT (▲) ボタンを受け付けません。

演奏を一時停止するには

1 演奏中にプレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押す。

- ・ プレイ/ポーズ (▶/||) ボタンのインジケーターと CUE ボタンのインジケーターが点滅し、演奏を中断します。
- ・ もう 1 度プレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押すと、ボタンのインジケーターが点灯し、演奏を再開します。
- ・ ジョグモードが SCRATCH 以外の場合は、ポーズモード中も演奏音がとぎれとぎれに出力されます (音出しポーズ)。音を出したくないときはオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。
- ・ ポーズ状態で 100 分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときプレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押せば演奏を再開します。

ディスクのレジューム機能について

ディスクをイジェクト後に再度同じディスクを同じドライブに挿入すると、そのディスクをイジェクトした直前の状態になります。ただし、デジタルジョグブレイク、スクラッチジョグエフェクトは復帰しません。

再度同じディスクを再生する前に、TRACK SEARCH ボタンを押すと、通常どおりトラックサーチをしたあとと再生します。

- ・ USB ストレージデバイスはレジュームしません。
- ・ EJECT (▲) ボタンを押してディスクを取り出した場合のみ有効です。
- ・ レジューム機能はディスクメディアが対象ですが、ドライブ 1 をイジェクトした場合はコントローラー A、ドライブ 2 をイジェクトした場合はコントローラー B の状態のみレジュームされます。一方、USB ストレージデバイスと EJECT 機能を持たない DJ ソフトウェアはレジュームしません。

早送り／早戻しをするには

■ SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンによる操作

再生中に SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押す

- ▶▶ ボタンを押している間、早送りします。
- ◀◀ ボタンを押している間、早戻しします。

■ スーパー・ファースト・サーチ

SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンのどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- 音楽ファイルが VBR の場合は高速にならず、通常の早送り／早戻しとなります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを放すと、このモードは解除されます。
- 音楽 CD(CD-DA) 以外の場合、同一フォルダ内のみで早送り・早戻しができます。

スキップするには

■ TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンによる操作

TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押す

- 1 回押すたびに、指定方向の曲にスキップします (演奏中に前の曲にスキップするには、続けて 2 回 ◀◀ を押してください)。
- 押し続けると連続送りになります。2 秒以上押し続けると、送り速度が早くなります。
- 最初の曲 (トラック No. 1) より更に前をサーチしようとするとう最終曲にスキップします。
- 最終曲から ▶▶ を押すと最初の曲 (トラック No.1) にスキップします。

■ スーパー・ファースト・トラックサーチ

TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンのどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速スキップ動作をするモードに入ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンの方向は無視されます。
- TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを離すと、このモードは解除されます。

ジョグモードの切り換え

SCRATCH または JOG BREAK ボタンを押す
SCRATCH、JOG BREAK、OFF のいずれかのモードに切り換えることができます。

LED が点滅している側を押すと LED が消灯し、ジョグモードは OFF になります。

ジョグダイヤルの機能

1 再生中に回す

(ピッチベンド：ジョグモード OFF 時)

- 回転させた分、加速 (+FWD)・減速 (-REV) します。
- 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。

2 再生中に回す

(スクラッチプレイ：ジョグモード SCRATCH 時)

「スクラッチプレイ」(P.42) をご覧ください。

3 再生中に回す

(ジョグブレイク：ジョグモード JOG BREAK 時)

「ジョグブレイクプレイ」(P.42) をご覧ください。

4 ポーズ時に回す (フレームサーチ)

- 1 フレーム単位でサーチします。
- FWD+ の方向へ一定の早さで回すと、再生音 (1 倍速) になります。

5 キュー待機時、SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押してから回す (キューポイントサーチ)

キュー待機中、SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押すとジョグモードが SCRATCH 以外のときは音出しポーズになり、ジョグダイヤルを回すとキューポイント候補をサーチできます。移動後、CUE ボタンを押すと、新しいキューポイントが設定できます。

6 再生中、SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押しながら回す (スーパー・ファースト・サーチ)

SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押したままジョグダイヤルをサーチしたい方向に回すと、回転方向にさらに高速でサーチします。

7 TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押しながら回す (スーパー・ファースト・トラックサーチ)

TRACK SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをトラックサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転量に従ってさらに高速なトラックサーチをすることができます。

8 PITCH BEND (+ / -) ボタンを押しながら回す (スーパー・ファースト・ピッチベンド)

PITCH BEND (+ / -) ボタンを押したままジョグダイヤルを速度変更をしたい方向に回すと、通常のピッチベンドより速く速度変化します。

演奏スピードを変えるには

■ テンポ調整

TEMPO 調整つまみを前後にスライドする

手前 (+) に動かすと演奏が早くなり、奥 (-) に動かすと演奏が遅くなります。

- ・ 演奏スピード (テンポ) の変化率が表示部に表示されます。
- ・ 演奏スピードを変えても音程を変えないで保つことができます (「マスターテンポをかける」)。

■ ピッチベンド

PITCH BEND ボタンの (+) を押すと演奏が早くなり、(-) を押すと演奏が遅くなります。

■ テンポ調整範囲の選択

TEMPO レンジボタンを押す

押すたびに TEMPO 調整つまみの可変範囲 (± 6 % / ± 10 % / ± 16 % / WIDE) が切り換わります。± 6 % では 0.02 % 単位、± 10 % と ± 16 % では 0.05 % 単位で調整できます。WIDE では ± 0.5 % 単位で調整できます。

☑メモ

- ・ MP3/AAC/WAV/AIFF の可変範囲は ± 6 % / ± 10 % / ± 16 % です。
- ・ 電源をオフしてもテンポレンジは記憶されます。
- ・ 可変範囲の設定値は表示部に表示されます。
- ・ DJソフトウェアの曲の場合はソフトウェアの仕様によります。

マスターテンポをかける

再生中に MASTER TEMPO ボタンを押す

- ・ ボタンの MT インジケーターが点灯し、テンポ調整つまみでスピード (テンポ) を変えても、音程 (キー、ピッチ) は変わりません。
- ・ 音声をデジタル加工するため、音質が変化します。

キューポイントの設定

キューポイントを設定しておく、CUE ボタンを押したときにキューポイントでスタート待機状態 (キュー待機) にすることができます。

■ マニュアルキュー

- 1 再生中、頭出ししたいポイントで、プレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押して一時停止状態にする
- 2 キューポイントの正確な位置を探す

フレームナンバーでキューポイントを決める

1 フレーム単位 (75 フレーム = 1 秒) で頭出しの位置が設定できます。

ジョグダイヤルまたは SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル 1 回転で 75 フレーム、SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押すと 1 フレーム、指定方向にフレームを送ります。

■ 音声を聞いてキューポイントを決める

ジョグダイヤルをゆっくり回して、演奏を開始したい音声の直前まで戻します (ジョグモードが SCRATCH 以外の場合は音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。

3 フレームナンバー、または音声が目的の頭出しポイントになったら、CUE ボタンを押す

- ・ 音声がミュートされ、ボタンの CUE インジケーターが点灯したらキューポイントの設定は完了です。
- ・ 新しいキューポイントが設定されると、以前のキューポイントはクリアされます。

■ リアルタイムキュー

1 再生中、頭出ししたいポイントで IN/CUE ボタンを押す

このポイントが新たなキューポイントとして設定されます。

■ 頭出しポイントを確認するには (キューポイントサンプラー)

1 頭出しポイントを設定後、CUE ボタンを押す

CUE ボタンを押しているあいだ、頭出しした音を聞くことができます。

■ 頭出しポイントに戻るには (バックキュー)

1 再生中、CUE ボタンを押す

設定した頭出しポイントに戻ります。

2 プレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押す

頭出ししたポイントから瞬時に再生します。

■ 頭出しポイントを修正するには (キューポイントの修正)

1 再生中、CUE ボタンを押す

設定してある頭出しポイントに戻ります。

2 SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押す

- ・ 1 フレーム単位で頭出しポイントが移動します。
- ・ SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押してからジョグダイヤルを回しても頭出しポイントが移動します。

3 CUE ボタンを押す

CUE ボタンを押したところが新しい頭出しポイントになります。

オートキュー機能

曲をセットしたときとトラックサーチのときに、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定とキュー待機を自動的に行う機能です。

■ オン/オフするには

- ・ TIME/A.CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン/オフできます。
- ・ 表示部のオートキューインジケータ (A.CUE) が点灯するとオンです。
- ・ 電源をオフしてもオートキューのオン/オフ状態は記憶されます。
- ・ オートキューレベルを可変することができます。

■ オートキューレベルの設定変更

1 TIME/A.CUE ボタンを5秒以上押し続ける

表示部に「-60db」(初期状態の場合)と表示されます。

2 PITCH BEND ボタン (+、-) を押して値を変更する

- ・ -36dB、-42dB、-48dB、-54dB、-60dB、-66dB、-72dB、-78dBから選べます。
- ・ TIME/A.CUE ボタンを押すか、15秒間放置するとレベル可変モードは解除されます。
- ・ 電源をオフしても、設定レベルは記憶されます。
- ・ オートキューレベルの設定変更はUTILITY画面内でも可能です。

応用操作編

ループプレイ

■ ループを作るには

- 1 プレイ/ポーズ (▶/⏸) ボタンを押して再生する
- 2 再生中、ループインポイントで IN/CUE ボタンを押す
あらかじめ記録してあるキューポイントをループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
- 3 再生中、ループアウトポイントで OUT/ADJUST ボタンを押す
インポイントからアウトポイント間でループプレイを開始します。

■ ループを抜け出す（解除する）には

ループプレイ中に RELOOP/EXIT ボタンを押す
ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

■ ループアウトポイントを変えるには

- 1 ループプレイ中に、OUT/ADJUST ボタンを押す
表示部にアウトポイントの時間が表示され、OUT/ADJUST ボタンは速い点滅に、IN/CUE ボタンは消灯に変わります。
- 2 SEARCH (◀◀、▶▶) ボタンを押す、またはジョグダイヤルを回す
 - ・ 1 フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
 - ・ OUT/ADJUST ボタンを押すか、30 秒間放置すると修正モードを抜けループプレイに戻ります。

■ ループ再生中にループインポイントに戻って再度ループ再生するには（ホットループ）

ループ再生中に HOT LOOP ボタンを押す。
ループインポイントに戻って再度ループ再生を開始します。

■ 再度ループに戻るには

ループ解除後、再生中に RELOOP/EXIT ボタンを押す
前に設定したループインポイントに戻り、ループプレイを再開します（リ・ループ）。

■ LOOP プレイ情報を記憶する

ループプレイ中に CUE/LOOP MEMORY ボタンを押すことで、LOOP 情報を記憶させることができます。

キューポイント/ループポイントメモリー

本機は設定したキューポイントやループポイントを記憶しておくことができます。

その曲がディスクの場合は本体の内部メモリーに、USB ストレージデバイスの場合はストレージデバイス自身に記憶します。

1 曲あたり 1 ポイントのキューまたはループが記憶できます。

☑メモ

- ・ 本体の内部メモリーには最大 2 000 枚分（ディスクあたりのキューポイントが 10 個以内のとき）記憶することができます。内部メモリーがいっぱいになると使用頻度の低いディスクの情報に上書きします。
- ・ USB ストレージデバイスに十分な空き容量がない場合には、そのデバイス内の曲のメモリーはできません。
- ・ DJS を含む DJ ソフトウェアの曲はメモリーできません。

■ キューポイントを記憶する

- 1 オートキュー機能または CUE ボタンでキューポイントを入力する
- 2 CUE/LOOP MEMORY ボタンを押す
「MEMO」インジケーターが点灯し、キューポイントが記憶されます。

■ ループポイントを記憶する

- 1 ループインポイント/ループアウトポイントを入力してループ再生する
- 2 ループ再生中に CUE/LOOP MEMORY ボタンを押す
「MEMO」インジケーターが点灯し、ループイン/ループアウトポイントが記憶されます。
キュー/ループポイントが記憶されている曲は、BROWSE 画面の「🎵」アイコンが「🔒」アイコンに変わります。

☑で注意

- ・ キューポイントとロードされている曲が異なる場合は記憶できません。
- ・ USB ストレージデバイス内に十分な空き容量がないときは、その曲のキュー/ループポイントの記憶はできません。

■ 記憶したキュー/ループポイントを呼び出す

キュー/ループポイントが記憶されていると、「MEMO」インジケーターが点灯します。

1 CUE/LOOP CALL ボタンを押す

CUE/LOOP CALL ボタンを押すと、キュー/ループポイントが呼び出され、キュー/ループインポイントで待機します。

- 2 プレイ/ポーズボタン (▶/⏸) を押す
再生/ループ再生を開始します。

■ キュー/ループポイントの記憶を消去する

- 1 CUE/LOOP CALL ボタンを押す
CUE/LOOP CALL ボタンを押すと、キュー/ループポイントが呼び出され、キュー/ループインポイントで待機します。
- 2 消去したいキュー/ループポイントで CUE/LOOP MEMORY ボタンを 1 秒以上押し続ける
「MEMO」インジケータが消灯し、指定したキューポイントまたはループポイント情報が消去されます。
・ BROWSE 画面からも消去できます。(P.29)

スクラッチプレイ

ジョグモードを「SCRATCH」にすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じた再生ができます。

- 1 SCRATCH ボタンを押す
SCRATCH インジケータが青く点滅します。
- 2 再生中にジョグダイヤルの天面を押す
再生が停止します。
- 3 ジョグダイヤルを再生したい方向と速さで回す
ジョグダイヤルの回転スピードと回転方向に応じたスピードと方向で再生されます。
- 4 ジョグダイヤルの天面から手を離す
再生が元の状態に戻ります。

スピンプレイ

ジョグモードが「SCRATCH」でプレイ中に、ジョグダイヤルの天面を押すか、PLAY/PAUSE ボタン (▶/⏸) を押してポーズにしたあと、ジョグダイヤルを早く回すと、ジョグダイヤルから手を離しても回転に応じたスピードと方向で再生されます。

ジョグブレイクプレイ

ジョグモードを「JOG BREAK」にすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じて音にエフェクトをかけることができます。

- 1 JOG BREAK ボタンを押す
JOG BREAK インジケータが赤く点滅します。
- 2 再生中にジョグダイヤルの天面を押す
- 3 ジョグダイヤルを回す
- 4 ジョグダイヤルの天面から手を離す
エフェクトがなくなり、元の状態に戻ります。
・ DJS を含む DJ ソフトウェアの曲がセットされている場合、ジョグブレイクプレイはできません。

EFFECT 画面

EFFECT ボタンを押すと、センターディスプレイにEFFECT画面が表示されます。グラフィカルな表現でスクラッチプレイやジョグブレイクプレイをアシストします。



ファンクションボタン

【1】スクラッチエフェクト

ジョグモードを「SCRATCH」にすると、そのコントローラ側の画面がスクラッチエフェクトモードに切り換わります。青いボールが再生に合わせて回転します。

(通常右回り。再生方向が変わると逆回転し、再生が止まるとボールの回転も止まります。)

- 1 再生中、ファンクションボタン (SCRATCH、TRANS、BUBBLE) の 1 つを押す

SCRATCH について

「スクラッチプレイ」の項を参照してください。



メモ

- ・ DJS を含む DJ ソフトウェアの曲がセットされている場合、スクラッチエフェクトは SCRATCH しか選択できません。その場合の表示は以下ようになります。(DJ ソフトウェアによっては SCRATCH ができないものもあります。詳しくはお使いのソフトウェアのメーカーにお問い合わせください。)



TRANS について

ミキサーのクロスフェーダーで音を一定期間ミュートしているような効果を出します。それに連動し、画面ではボールが点滅しながら回転します。



BUBBLE について

バブルスクラッチ奏法をシュミレーションした「ブルブル」という効果音を出します。それに連動し、画面ではボールが左右に揺れながら回転します。



[2] ジョグブレイクエフェクト

ジョグモードを「JOG BREAK」にすると、そのコントローラー側の画面がジョグブレイクエフェクトモードに切り換わります。

☑メモ

- ・ DJ を含む DJ ソフトウェアの曲がセットされている場合、ジョグブレイクエフェクトモードは選択できません。

1 再生中、ファンクションボタン (JET、ROLL、WAH) の 1 つを押す

- ・ 選択されたエフェクトが表示され、ジョグダイヤルの回転に応じて、それぞれの効果が変化します。

2 EFFECT を維持する (HOLD)

- ・ ジョグから手を離すとエフェクトが消え、アニメーションも元に戻りますが、コントローラー A 側ならセレクトアップ (◀) ボタン、コントローラー B 側ならセレクトダウン (▶) ボタンを押すと、ジョグから手を離れたジョグの回転位置でのエフェクトが維持されます (HOLD)。再度ボタンを押すと、元に戻ります。
- ・ HOLD 中は JOG BREAK インジケーターが赤く点灯します。また、画面の「HOLD ON」が点灯します。

JET について

ジョグダイヤルの回転に従いディレイタイムを変化させて再生音にショートディレイをミックスし、相互の音の間に干渉を起こさせて「シュワー」という感じの効果音を出します。それに連動し、JET のイメージアニメーションが表示されます (WAVE 表示)。

☑メモ

- ・ ジョグダイヤルから手を離すと原音の状態に徐々に戻っていきます。



ROLL について

ジョグダイヤルの回転に従いピッチと再生時間を変化させて再生音に効果を出します。

☑メモ

- ・ ジョグダイヤルにタッチした時点の音を連続してループ再生しロールします。
- ・ ジョグダイヤルから手を離すと、原音の状態に戻ります。
- ・ それに連動し、ROLL のイメージアニメーションが表示されます。(軌道 + ボールが出現。ジョグダイヤルの回転位置 / 方向により、回転するボールの軌道と速度が変化していく。)



WAH について

ジョグダイヤルの回転に応じてカットオフ周波数が変化するフィルターをかけます。

それに連動し、WAH のイメージアニメーションが表示されます。(ジョグダイヤルの回転方向により、ラインが左右にスライド。)

☑メモ

- ・ 時計まわりではハイパスフィルタ、反時計まわりではローパスフィルタになります。
- ・ ジョグダイヤルから手を離すと原音の状態に徐々に戻っていきます。



[3] エフェクトオフ

ジョグモードを「OFF (スクラッチ/ジョグブレイクボタンの両方のインジケータが消灯)」にすると、エフェクトオフモードになります。このとき、ピッチベンド (P.38) や音出しポーズができます。



MIX 画面

MIX ボタンを押すとセンターディスプレイに MIX 画面が表示され、簡単に曲を MIX して再生することができます。

☑メモ

・コントローラーにDJソフトウェアの曲がセットされていると MIX 機能は使えません。



1 プレイリスト表示	プレイリストが表示されます。MIX 用に選択されているプレイリストはオレンジ色のアイコンになります。
2 MIX モード選択	ファンクションボタンで MIX モードを選択します。
3 BPM SYNC	MIX する際に BPM を自動的に合わせます。ファンクションボタンでオン/オフを切り換えます。
4 AUTO MIX オン/オフ	選択されているプレイリストを自動再生します。ファンクションボタンでオン/オフを切り換えます。

■ AUTO MIX

AUTO MIX 機能をオン/オフします。

AUTO MIX をオンにすると、選択されているプレイリストを自動的に再生し続けます。

☑メモ

・AUTO MIX をオンにすると自動的にオートキュー機能もオンになります。その状態では、オートキュー機能をオフにできません。

■ BPM SYNC

BPM SYNC をオン/オフします。

BPM SYNC をオンにすると、再生中の曲のBPMに合わせて次の曲のテンポが変更されます。

✓メモ

- ・テンポの可変範囲 (音楽 CD(CD-DA): ± 100 %, MP3/AAC/WAV/AIFF: ± 16 %) を超える場合はテンポは変更されません。

■ MIX モード選択

CUT-IN

再生している曲を終了し、次の曲の再生に瞬時に切り換えます。

ZIP

再生中の曲のピッチが徐々に下がり、聞こえなくなるほどピッチが下がりきったところで次の曲の再生が始まります。

ECHO

1 拍分の音が繰り返し再生しながら徐々に音量が下がり、聞こえなくなるほど音量が下がりきったところで次の曲の再生が始まります。

CROSS FADE

再生中の曲がフェードアウトするとともに次の曲がフェードインしながら再生され、フェードアウト/フェードインが終わると曲が入れ換わります。

✓メモ

- ・いずれのミックスモードも選択されていない場合は CUT IN、ZIP、ECHO、CROSS FADE の 4 種類の内のいずれかがランダムに選択されます。

■ インスタントチェンジ機能

インスタントチェンジ機能を使って再生中の曲から希望の曲へ、任意のタイミングで切り換えることができます。

1 曲を再生中に次の曲をセットする

曲を再生していない側のコントローラーに曲をセットし、キュー待機状態にします。

✓メモ

- ・曲は BROWSE 画面からだけでなく MIX 画面からもセットすることができます。MIX 画面ではプレイリストを開いた状態でロータリーセレクターを回すとカーソルが現れ、両方の LOAD ボタンが点滅します。この状態で LOAD ボタンを押すとカーソルで選択された曲がコントローラー A または B にセットされます。

2 MIX ボタンを押す

センターディスプレイ内に MIX 画面が表示されます。キュー待機側のコントローラーの LOAD ボタンが点滅します。

3 MIX モードを選択する

ファンクションボタンを押して MIX モードを選択します。

いずれも選択されていない場合は、曲を切り換えるときにいずれかがランダムに選択されます。

4 点滅している側の LOAD ボタンを押す

選択されている MIX モードで曲が切り換わります。

✓メモ

- ・曲が切り換わっている途中に点滅している側の LOAD ボタンを押すと、曲の切り換えをキャンセルします。

■ プレイリストを自動再生させる

あらかじめ作成したプレイリストを選択し、登録された曲順にコントローラー A/B で交互に自動再生することができます。

1 MIX ボタンを押す

センターディスプレイ内に MIX 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回してプレイリストを選択し、セレクトダウン (▶) ボタンを押してプレイリストを開く

開いたプレイリストが MIX 用プレイリストとして選択されます。

3 MIX モードを選択する

ファンクションボタンを押して MIX モードを選択します。

いずれも選択されていない場合は、曲を切り換えるときにいずれかがランダムに選択されます。

4 ロータリーセレクターを回し、プレイリストの 1 曲目をコントローラー A に、2 曲目をコントローラー B に LOAD し、キュー待機状態にする

コントローラー A/B に曲がセットされ、キュー待機状態になります。

✓メモ

- ・コントローラー A/B に曲がセットされていない場合は、手順 5 で自動的にセットされます。

5 ファンクションボタンを押して AUTO MIX を ON にする

曲がセットされていない場合、プレイリストの 1 曲目がコントローラー A に、2 曲目がコントローラー B にセットされ、キュー待機状態になります。

6 コントローラー A のプレイ/ポーズ (▶/||) ボタンを押す

コントローラー A にセットされた曲が再生され、AUTO MIX が開始します。

再生終了 30 秒前に、選択されている MIX モードで、コントローラー B にセットされた曲に切り換わります。

✓メモ

- ・曲を再生している途中にインスタントチェンジ機能で曲を切り換えることもできます。

7 ファンクションボタンを押してBPM SYNCをONする。

曲同士のテンポを合わせて MIX させたい場合は BPM SYNC を ON にします。

☑メモ

- ・ 自動再生中、BROWSE 画面から待機中のコントローラーに曲を LOAD することにより曲を割り込ませることも可能です。

フェーダースタートプレイについて

本機のコントロール端子 (CONTROL) とパイオニア製 DJ ミキサーのコントロール端子 (CONTROL) を付属のコントロールコードで接続することにより、DJ ミキサーのチャンネルフェーダーを上げると CUE スタンバイが解除して瞬時に曲をスタートします。クロスフェーダーの操作でもフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとキューポイントまで戻す (バックキューする) ことができます。(オートプレイ中を除く)

ソフトウェア DJS について

ソフトウェア「DJS」は、MP3 ファイルを使ってコンピュータ上で DJ プレイを楽しむためのソフトウェアです。付属の CD-ROM よりお使いのパソコンに DJS をインストールしてご使用ください。



・ DJS は DJ プレイを録音する機能を持っていません。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読みください。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストールおよびご利用をおやめください。

（使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナルコンピュータにインストールして使用することができます。

（制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの改変、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法および国際条約の規定により保護されています。

（保証および技術サポートの否認）

本ソフトウェアおよびそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うこと等も保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

（責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェアおよびこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含

みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

（準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

著作権についてのご注意

■ DJS では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

・ 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれている場合には、プログラムが正しく動作できない場合があります。

・ 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知した場合には、リッピングや再生などの処理を中止することがあります。

■ あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

・ CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。

必要なシステム（最低動作環境）

DJS は、次の条件をみたしている PC/AT 互換機で動作します。

CPU：

1.5GHz 以上の Intel® Pentium® M（または互換プロセッサ）
ただし、Windows Vista® の場合は、
1.5GHz 以上の Intel Core™2 Duo（または互換プロセッサ）

必要メモリ：

512MB 以上の RAM
ただし、Windows Vista® の場合は、
1GB 以上の RAM

ハードディスク：

250MB 以上の空き容量（MP3 などのファイルの保存に要する容量を除く）

光ディスクドライブ：

CD-ROM の読み込みおよび音楽 CD（CD-DA）の再生が可能なディスクドライブ

ディスプレイ：

XGA（1024 × 768 ピクセル）以上、かつ、HighColor（16 ビット）以上のビデオアダプターおよびモニター

サウンド：

2 系統以上のオーディオ出力（内蔵または外付けのサウンドカードまたはオーディオユニット）

入力デバイス：

キーボード・マウス（または同等のポインティングデバイス）

インターネット接続：

通信速度 56kbps 以上を推奨。Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上、または、128 ビット SSL に対応したウェブブラウザをご使用ください。

USB ポート：

本機（MEP-7000）をコンピュータに接続して DJS と組み合

わせてお使いになる場合には、USB1.1 以上の USB ポートが必要です。詳しくは「接続のしかた」（P.16）をお読みください。

☑️ ご注意

- ・上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- ・上記の動作環境に記載されている必要メモリ容量を搭載していても、常駐プログラムやサービスの数によっては、メモリ不足によってソフトウェアの機能・性能が発揮できない場合があります。このような場合は、常駐プログラムやサービスを停止し空きメモリを確保するか、安定した動作をさせるにはメモリの増設をお勧めします。
- ・コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できない場合があります。特にノート型コンピュータをお使いの場合には、AC 電源を用いるなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで DJS をお使いください。
- ・お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、DJS の動作に不具合が発生することがあります。
- ・DJS は、Macintosh コンピュータ（Intel 社製 CPU を搭載した Macintosh コンピュータを含む）には対応していません。

DJS のインストール

■ インストールについてのご注意

- ・DJS をインストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」と「必要なシステム（最低動作環境）」をよくお読みください。
- ・DJS は、以下の Microsoft® Windows® に対応しています。
 - Windows Vista® Home Basic
 - Windows Vista® Home Premium
 - Windows Vista® Ultimate
 - Windows Vista® Business
 - Windows® XP Home Edition（SP2 以降）
 - Windows® XP Professional（SP2 以降）
 - Windows® 2000 Professional（SP4）
- ・DJS は、64 ビット版の Microsoft® Windows® OS（Windows® XP Professional x64 edition および Windows Vista® 64 ビット版）には対応していません。
- ・付属の CD-ROM には、以下の 8 言語の DJS のインストールプログラムと DJS のユーザーズマニュアルが収録されています。
 - 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / オランダ語 / スペイン語 / 繁体中国語 / 日本語
- ・上記以外の言語の Windows® でお使いになる場合には、画面の指示にしたがって [English（英語）] を選択してください。
- ・DJS をインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてから行ってください。

■ インストール手順

1 付属の CD-ROM をコンピュータの光ディスクドライブに挿入するとインストールメニューが表示されるので、画面の指示に従って DJS をインストールする

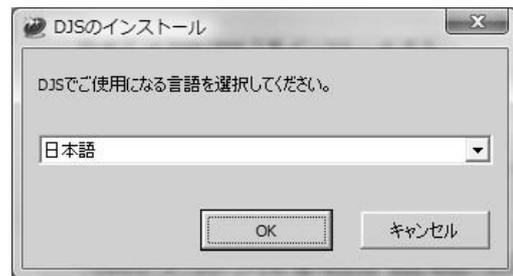
- ・ 付属の CD-ROM を挿入してもインストールメニューが表示されないときは、[スタート] メニューの [マイコンピュータ (またはコンピュータ)] から光ディスクドライブを開き [Install] アイコンをダブルクリックしてください。

2 インストールメニューが表示されたら、[DJS をインストールする] ボタンをクリックする



- ・ トライアル版のDJSがコンピュータにインストールされている場合には、[DJS をインストールする] ボタンではなく、[トライアル版の DJS をアンインストールする] ボタンが表示されます。[トライアル版の DJS をアンインストールする] ボタンをクリックして、トライアル版の DJS をアンインストールしてから、再度、[DJS をインストールする] ボタンをクリックしてください。
- ・ DJSのユーザーズマニュアルを表示する場合には、[DJSのユーザーズマニュアルを表示する] ボタンをクリックしてください。DJSのユーザーズマニュアルを表示するには、Adobe Reader[®] が必要です。
- ・ Adobe Reader[®] をインストールする場合には、[Adobe Reader をインストールする] ボタンをクリックしてください。すでに古いバージョンの Adobe Reader[®] がコンピュータにインストールされている場合には、古いバージョンの Adobe Reader[®] をアンインストールしてから、再度、[Adobe Reader をインストールする] ボタンをクリックしてください。
- ・ インストールメニューを終了させる場合には、[終了] ボタンをクリックしてください。

3 言語選択画面が表示されたら、[日本語] を選んでから [OK] ボタンをクリックする



- ・ お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から選択が可能です。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると [DJS のインストールの準備をしています] 画面が表示されます。インストールの準備が完了すると、[DJS のインストール開始] 画面が表示されますので、画面の指示にしたがって DJS をインストールしてください。
- ・ インストールを途中で中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

4 DJS のインストールが完了したら、画面の指示に従ってコンピュータを再起動する

☑ご注意

- ・ 本機 (MEP-7000) と DJS を組み合わせてお使いになる場合は、本機をコンピュータに接続する前に、本機の専用ドライバソフトウェア (P.52) をコンピュータにインストールする必要があります。

■ DJS のユーザーズマニュアル (PDF)

DJS のインストールが完了すると、Windows の [スタート] メニューからでも DJS のユーザーズマニュアルをご覧になれます。

Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム (またはプログラム)] → [DJS] → [ユーザーズマニュアル] の順にクリックしてください。

まずはDJSの機能を知っていただくためにDJSのユーザーズマニュアルをお読みください。その後 DJS を実際に起動して操作してください。

試用期間とユーザー登録についてのご注意

DJS には、インストールしていただいてから 60 日間の「試用期間」が設定されています。

この「試用期間」とは、ユーザー登録をしないで DJS をご使用になれる期間をいいます。「試用期間」を過ぎると DJS はご利用できなくなりますので、インストール後 60 日以内にユーザー登録を完了させてください。

- インターネットに接続されているお客様には、オンラインでのユーザー登録を受け付けております。ユーザー登録の詳しい方法は、付属の CD-ROM に収録されている DJS のユーザーズマニュアルをご覧ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
 1. お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
 2. 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールにてお客様にお知らせするため
 3. お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため
 - ・ お客様から収集する個人情報は弊社が定める個人情報保護方針にのっとり厳重に管理いたします。
 - ・ 弊社の個人情報保護方針はホームページ (<http://www.prodjnet.com/privacy.html>) でご覧いただけます。
- インターネットに接続されていないお客様は、「ユーザー登録カード」に必要な事項を記入して郵送してください。弊社にて「ユーザー登録カード」を受け付けた後、「試用期間」の設定を解除するための「登録 ID」を返送いたします。ユーザー登録の詳しい手順については、付属の CD-ROM に収録されている DJS のユーザーズマニュアルをご覧ください。

☑ご注意

- ・ 付属のインストールキーでお客様がご利用になれるコンピュータは 1 台までです。コンピュータの買い換えなどにより、新たなコンピュータに DJS を再インストールした場合には、「試用期間」の設定を解除するために、再度ユーザー登録および「登録 ID」の発行が必要になります。弊社から返送された「登録 ID」は、再登録やお問い合わせの際にも必要になりますので、ユーザー登録完了後も大切に保管してください。

■ ユーザー登録

「ユーザー登録カード」を郵送する際の宛先は下記のとおりです。

<ユーザー登録カードの宛先>

パイオニア株式会社 HBG プロSV 事業部ユーザー登録係
153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

サポートサイトのご利用について

DJS の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、付属の CD-ROM に収録されている DJS のユーザーズマニュアルと DJS のサポートサイトに掲載されております FAQ をご確認ください。

- DJS のサポートサイトへの接続方法は、DJS のユーザーズマニュアルをご覧ください。サポートサイトへ接続するためには、ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム」と「パスワード」が必要です。
- DJS のサポートサービスをご利用になる場合は、お客様のお名前・製品名・登録 ID・コンピュータの機種名およびスペックの詳細 (CPU・メモリ搭載量・接続している周辺機器など)・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
- DJS に対するサポートは、ユーザー登録が完了されている方でなければ一切受けられません。ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム」と「パスワード」は、「登録 ID」と同様、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- インストールやユーザー登録でお悩みのお客様は、インターネットのホームページまでお問い合わせください。
<インストールやユーザー登録についてのお問い合わせ>
<http://www.prodjnet.com/djs/support/>

☑ご注意

- ・ コンピュータや周辺機器など、弊社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認くださいませようお願いします。
- 今後、DJS の機能・性能向上のためのバージョンアップを予定しております。ユーザー登録を行っていただきますとサポートサイトのご利用が可能になり、アップデートプログラムをダウンロードすることができます。是非ともこのアップデートプログラムによるバージョンアップを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただきますようお願いいたします。

免責事項

- 万一、本ソフトウェアを使用して登録した情報が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。お客様が登録した内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。
- 本ソフトウェアの音楽 CD リッピング機能はディスプレイ面に次のいずれかのマークが入っていない音楽 CD には対応していません。あらかじめご了承ください。



ドライバソフトウェアについて

本機は、コンピュータと接続することで、弊社のソフトウェア「DJS」をはじめとする DJ ソフトウェアをコントロールできます。本機を Windows がインストールされているコンピュータに接続してお使いになる場合には、あらかじめコンピュータに本機の専用ドライバソフトウェアをインストールしておく必要があります。

メモ

- ・ Mac OS がインストールされているコンピュータをお使いのときは、専用のドライバソフトウェアを当社 Web サイト（下記）からダウンロードしてインストールしてください。
- ・ 当社 Web サイト（下記）では、ドライバソフトウェアに関する最新情報を提供しています。
<http://www.prodjnet.com/support/>

ソフトウェア使用許諾契約書

ドライバソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、「ソフトウェア使用許諾契約書」(P.48)の条項をよくお読みください。お客様がドライバソフトウェアをご利用になった場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されたものとして扱います。

ドライバソフトウェアのインストール

■ インストールの前に（重要）

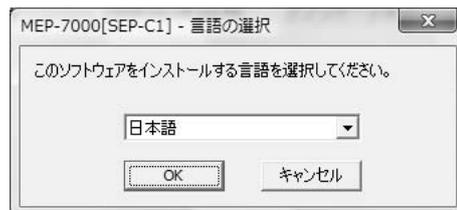
- ・ 本機の専用ドライバソフトウェアをインストールする前に、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ・ 本機は、Windows Vista[®] Home Basic/ Home Premium/ Business/ Ultimate または Windows[®] XP Home Edition/ Professional または Windows[®] 2000 Professional がインストールされている PC/AT 互換機との接続が可能です。また、Windows の更新機能を使って、お使いのコンピュータに最新の Service Pack をインストールする必要があります。
- ・ ドライバソフトウェアは、64ビット版のMicrosoft[®] Windows[®] OS (Windows[®] XP Professional x64 edition および Windows Vista[®] 64 ビット版)には対応していません。
- ・ ドライバソフトウェアのインストールプログラムは、10言語（英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / オランダ語 / スペイン語 / ロシア語 / 簡体中国語 / 繁体中国語 / 日本語）が用意されております。上記以外の言語の Windows でお使いになる場合には、画面の指示に従って [English (英語)] を選択してください。
- ・ ドライバソフトウェアをインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンしてから行ってください。
- ・ ドライバソフトウェアをインストールする前に、コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあればすべて終了させてください。

ご注意

- ・ ドライバソフトウェアをインストールする前に、本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータとをつないでいる USB ケーブルを取り外してください。
- ・ ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続した場合には、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ・ ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止した場合には、以下の手順に沿ってはじめてからインストールをやり直してください。

■ 付属の CD-ROM を使用してのインストール

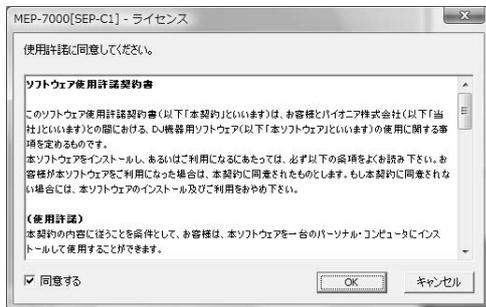
- 1 コンピュータを起動して、管理者権限のあるユーザーでログオンする
- 2 付属の CD-ROM をコンピュータの光ディスクドライブにセットする
- 3 Windows の [スタート] メニューの [マイコンピュータ (またはコンピュータ)] から光ディスクドライブを開き、[MEP-7000] フォルダをダブルクリックする
- 4 [MEP-7000] フォルダが開いたら、ドライバインストールプログラム [MEP-7000[SEP-C1].###.exe] をダブルクリックする (### はドライバソフトウェアのバージョンを示します。)
- 5 「言語の選択」画面が表示されたら、[日本語] を選んでから [OK] ボタンをクリックする。



- ・ インストールを途中で中止する場合には、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

ドライバソフトウェアについて

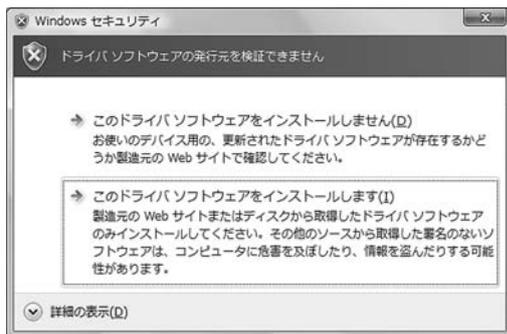
6 「ライセンス」画面が表示されたら、ソフトウェア使用許諾契約書をよく読み、ソフトウェア使用許諾契約書に同意する場合は、[同意する] チェックボックスにチェックを入れてから [OK] ボタンをクリックする



- ソフトウェア使用許諾契約書にご同意いただけない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして、インストールを中止してください。

7 画面の指示にしたがってインストールする

- インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。



(Windows XP の場合)

- インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。

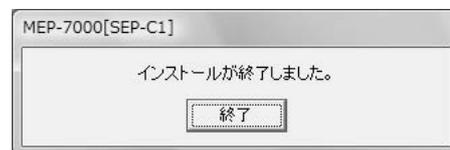


(Windows2000 の場合)

- インストールの途中で [デジタル署名が見つかりません] 画面が表示されることがありますが、[はい] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



8 インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されるので、[終了] ボタンをクリックする



■ 本機とコンピュータの接続

1 本機のドライブユニットとコントロールユニットをリモートコントロール専用ケーブルで接続する

☑ご注意

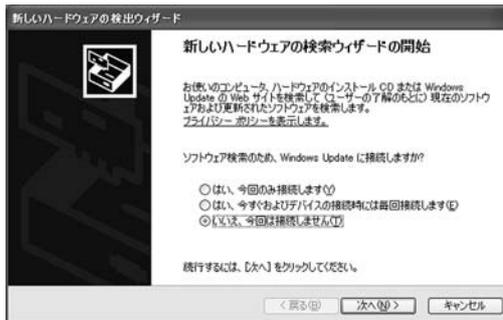
- カチッと音がするまでしっかり挿入してください。

2 本機のドライブユニットとコンピュータを USB ケーブルで接続し、本機のドライブユニットの電源スイッチをオンにする

本機をはじめてコンピュータに接続したときや、コンピュータの USB ポートをつなぎ変えたときには、「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」メッセージが表示されることがありますので、「デバイスを使用する準備ができました。」メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。

(Windows XP の場合)

- インストールの途中で [ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?] と聞かれた場合には、[いいえ、今回は接続しません] を選択して [次へ] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。

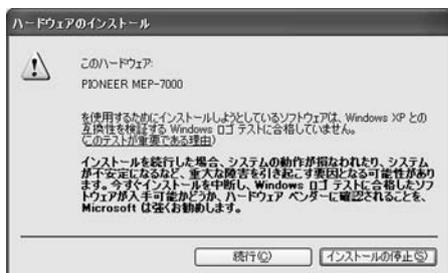


ドライバソフトウェアについて

- インストールの途中で「インストール方法を選んでください」と聞かれた場合には、「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択して「次へ」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



- インストールの途中で「ハードウェアのインストール」画面が表示されることがありますが、「続行」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



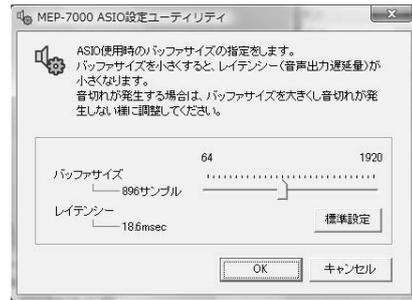
(Windows 2000 の場合)

- インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されることがありますが、「はい」ボタンをクリックしてインストールを続行してください。



■ バッファサイズの調整

本機のドライブユニットは ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。バッファサイズを調整する場合には、Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム (またはプログラム)] → [Pioneer] → [MEP-7000[SEP-C1]] → [MEP-7000 ASIO 設定ユーティリティ] の順にクリックしてください。



☑ ご注意

- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落（音途切れ）などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延（レイテンシー）によるタイムラグが増大します。
- 本機を既定のオーディオデバイスとして使用しているアプリケーションプログラム（DJ ソフトウェアなど）が起動している場合は、そのプログラムを終了させてからバッファサイズの調整を行ってください。

■ ドライバソフトウェアのバージョン確認

インストールされたドライバソフトウェアのバージョンを確認する場合には、Windows の [スタート] メニューから [すべてのプログラム (またはプログラム)] → [Pioneer] → [MEP-7000[SEP-C1]] → [MEP-7000[SEP-C1]バージョン表示ユーティリティ] の順にクリックしてください。



☑ メモ

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。あらかじめ本機がコンピュータに接続されていない、もしくは、本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。
- この画面に表示される本機のファームウェアのバージョンは、コントロールユニットのファームウェアとドライブユニットのファームウェアのうち、古いほうのファームウェアのバージョンが表示されます。

■ 最新バージョンのドライバソフトウェア

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。

<http://www.prodjnet.com/support/>

■ 本機から DJS をコントロールする場合

「DJ ソフトウェアを使用する」(P.55) および「DJS コントロールガイド」(PDF ファイル) をお読みいただき、実際に本機を使って DJS を操作してください。「DJS コントロールガイド」は付属の CD-ROM の [MEP-7000] フォルダの [Japanese] フォルダに、[manual_MEP-7000_control_ja.pdf] というファイル名で収録されています。

DJ ソフトウェアを使用する

付属の DJS をはじめ他社 DJ ソフトウェアをインストールしたパソコンと本機を USB ケーブルで接続すれば、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。

本機でコントロールできる DJ ソフトウェア

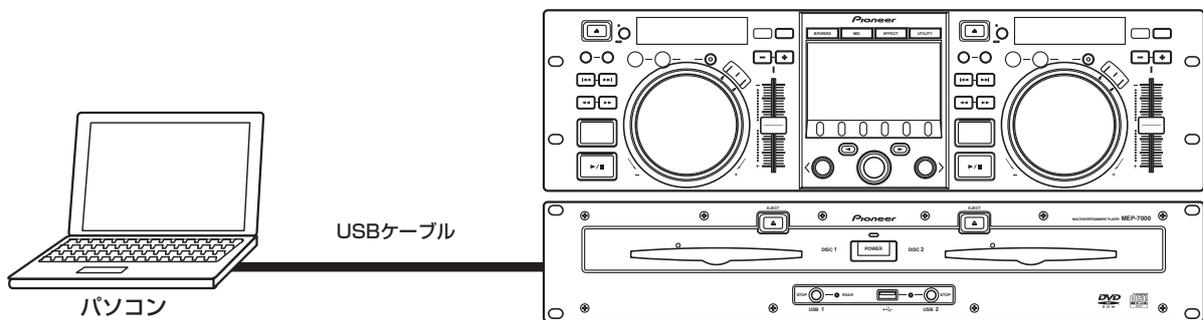
DJS	本機は当社オールインワン DJ ソフトウェア「DJS」を同梱しており、DJ ソフトウェアをすぐにお使いになれます。
専用通信対応 DJ ソフトウェア	本機の専用通信フォーマットに対応している他社 DJ ソフトウェアをコントロールディスクなしで操作できます。 DJ ソフトウェアの対応状況は当社 Web サイトで最新情報をご案内していきます。 http://www.prodjnet.com/support/
MIDI 対応 DJ ソフトウェア	本機はボタン情報やテンポ調整つまみ情報を汎用の MIDI 形式でも出力しますので、MIDI 対応の DJ ソフトウェアの方で本機の MIDI メッセージをアサインすれば、MIDI 通信でコントロールが可能になります。

2通りのプレイスタイル

本機は下記のような 2 つのスタイルでパソコンと接続することができます。

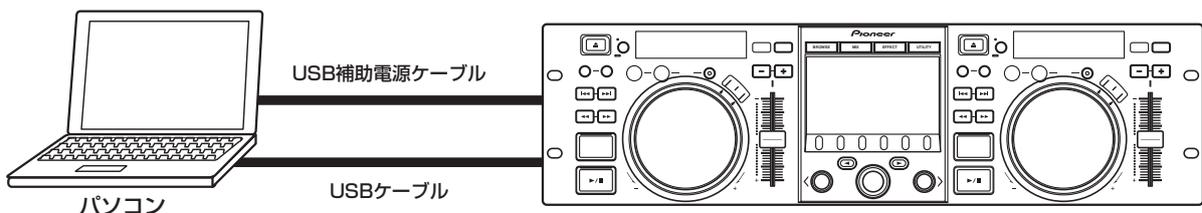
ノーマルスタイル

本機がコントロールユニットとドライブユニットのセットで動作している状態を「ノーマルスタイル」と呼びます。ノーマルスタイルで DJ ソフトウェアを使用する場合は本機のドライブユニットとパソコンを USB ケーブルで接続します。DJ ソフトウェアはディスクや USB ストレージデバイスと同様に BROWSE 画面のソースの 1 つとして割り当てられ、これらのソースを本機のセンターディスプレイで切り換えます。また本機をオーディオ出力デバイスに設定すれば、ミキサーでの双方の音声切替も不要になり今までにないシームレスな DJ プレイを実現します。(オーディオ出力デバイスの設定は付属の DJS と一部の DJ ソフトウェアのみの対応です)



マニピュレータスタイル

本機のコントロールユニットを DJ ソフトウェアのマニピュレータとして動作させている状態を「マニピュレータスタイル」と呼びます。本機をマニピュレータとして使えば、マウスやキーボードを使うことなく当社 CDJ シリーズで受け継がれたレイアウト、機能、操作性で DJ ソフトウェアをコントロールできます。



DJ ソフトウェアを使用する

DJ ソフトウェアの準備

DJ ソフトウェアをお使いになる前にパソコンと DJ ソフトウェアの準備が必要です。パソコンに専用ドライバソフトウェアをインストールするまでは本機とパソコンを接続しないでください。

手順	ノーマルスタイル	マニピュレータスタイル	DJS	専用通信対応 DJソフトウェア	MIDI対応 DJソフトウェア
パソコンの準備および動作環境の確認	●	●	本書「ソフトウェアDJSについて」(P.48)を参照。パソコンのOSはWindows Vista、Windows XP、Windows 2000をご使用ください。DJSはWindows版のみの対応です。	ご使用のDJソフトウェアメーカーの取扱説明書を参照。パソコンのOSはWindows Vista、Windows XP、またはWindows 2000をご使用ください(MacOSは、10.3.9以降をご使用ください)。	
パソコンの電源投入	●	●		ご使用のDJソフトウェアメーカーの取扱説明書を参照。	
専用ドライバソフトウェアのインストール	●	●	本書「ドライバソフトウェアについて」(P.52)を参照。		
本機とパソコンを接続	●	●	本書「接続のしかた」(P.16)を参照。ノーマルスタイルの接続はP.16、マニピュレータスタイルはP.19です。		
本機の電源投入	●	●			
バッファサイズ (ASIO) の調整	●	●	本書「ドライバソフトウェアについて ■バッファサイズの調整」(P.54)を参照。		
パソコンと「正常にUSB接続されたか？」の確認	●	●	本書「ドライバソフトウェアについて ■ドライバソフトウェアのバージョン確認」(P.54)を参照。		
DJソフトウェアのインストール	●	●	本書「ソフトウェアDJSについて」(P.48)を参照。	ご使用のDJソフトウェアメーカーの取扱説明書を参照。	
DJソフトウェアの起動	●	●	DJSユーザーズマニュアル(付属CD-ROM PDFファイル)を参照。		
オーディオ出力デバイスの設定	●	●	DJSコントロールガイド(付属CD-ROM PDFファイル)を参照。		
DJプレイの操作	●	●	基本的な操作方法はDJSコントロールガイドを参照。 *センターディスプレイの画面の状態や、他ソースとの混在プレイ(ノーマルスタイル)の説明は本書をご覧ください。		

メモ

- ・ DJ ソフトウェアをお使いになるには、専用ドライバソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。Windows がインストールされているコンピュータをお使いのときは、付属の CD-ROM に収納されている専用のドライバソフトウェアをインストールしてください (Mac OS がインストールされているコンピュータをお使いのときは、専用のドライバソフトウェアを当社 Web サイト (下記) からダウンロードしてインストールしてください)。
- ・ 当社 Web サイト (下記) では、ドライバソフトウェアに関する最新情報を提供しています。
<http://www.prodjnet.com/support/>

専用通信フォーマットを使って PC をコントロールする

本機は付属の DJS のほか、本機の専用通信フォーマットに対応している DJ ソフトウェアをコントロールすることができます。

■ノーマルスタイルでのコントロール

1 パソコンに接続する

パソコンと正常に USB 認証されると BROWSE 画面の PC タブがアクティブ表示に変わります。



2 DJ ソフトウェアを起動する

タブ表示に変化はありません。

DJS の場合

DJS と通信がはじまると DJS アイコンに変わります。



3 DJ ソフトウェアで本機をオーディオ出力デバイスに設定する

ノーマルスタイルでは本機をオーディオ出力デバイスに設定することにより、DJ ソフトウェアで再生する曲を本機から出力できます。本機をオーディオ出力デバイスに設定する方法は本機を設定できる DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

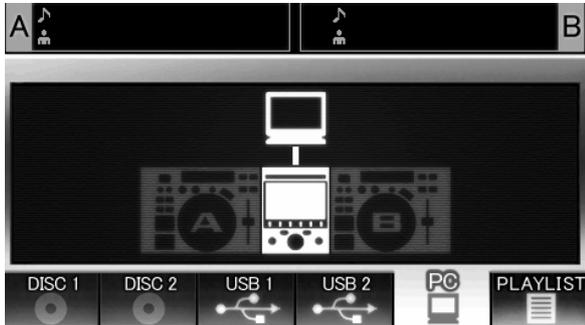
DJS の場合

DJS は本機をオーディオ出力デバイスに設定できます。設定方法は DJS コントロールガイド (付属 CD-ROM PDF ファイル) のノーマルスタイルの章をご覧ください。

DJ ソフトウェアを使用する

4 BROWSE 画面で PC を選択する

DJ ソフトウェアが正常に起動するとセンターディスプレイの BROWSE 画面が PC コントロール状態を示し、ロータリーセクター、セレクトアップ (◀) / ダウンボタン (▶) を使った DJ ソフトウェアの操作ができるようになります。



DJS の場合

センターディスプレイに DJS の BROWSE 画面を表示します。実際の操作方法については MEP-7000 DJS コントロールガイド (付属 CD-ROM PDF ファイル) のノーマルスタイルの章「DJS の楽曲を選曲する」をご覧ください。

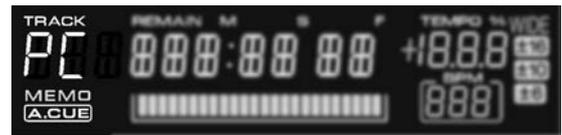


5 LOAD A (または B) ボタンを押す

BROWSE 画面のソース選択部で PC を選択した状態で LOAD A (または B) ボタンを押すと、DJ ソフトウェアの曲をコントローラー A (または B) にセットします。DJソフトウェア操作中のコントローラーはBROWSE画面でハイライト表示になります。



同時にディスプレイ A/B では PC と表示します。



DJS の場合

DJS と表示します。



6 コントローラーで DJ ソフトウェアを操作する

ボタン類、ジョグダイヤル、テンポ調整つまみを使って DJ ソフトウェアを操作できます。

☑メモ

- ・付属の DJS をはじめ一部の DJ ソフトウェアでは本機のセンターディスプレイ、ディスプレイ A/B に再生中の曲の時間情報やタイトル、アーティスト名を表示できます。
- ・DJソフトウェアの方で本機をオーディオ出力デバイスに設定すれば DJ ソフトウェアで再生する曲をドライブユニットから出力します。

7 ディスクや USB ストレージデバイスの再生に切り換える

コントローラー A (または B) で PC をコントロール中、BROWSE 画面でディスクや USB ストレージデバイスの曲を選択し LOAD A (または B) ボタンを押すと、ディスクや USB ストレージデバイスの再生およびコントロールに切り換わります。

■ マニピュレータスタイルでのコントロール

1 パソコンに接続する

センターディスプレイに PRO DJ ロゴを表示します。



2 DJ ソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアと通信が始まるとボタン類、ジョグダイヤル、テンポ調整つまみによるコントロールのほか、DJ ソフトウェアで再生中の曲の時間情報やタイトル、アーティスト名を本機のセンターディスプレイやディスプレイ A/B に表示します。

DJ ソフトウェアを使用する



メモ

- 一部のDJソフトウェアによっては上記の曲情報画面を表示しません。

DJS の場合

センターディスプレイでBROWSE, MIX, EFFECT 画面を見ながらコントロールできます。実際の操作方は MEP-7000 DJ S コントロールガイドのマニピュレータスタイルの章をご覧ください。



メモ

- UTILITY 画面がセンターディスプレイに表示されている間はセンターディスプレイ部のボタンおよびロータリーセクターで DJ ソフトウェアをコントロールできません。

MIDI を使って PC をコントロールする

MIDI (ミディ: Musical Instrument Digital Interface) とは、電子楽器やパソコンの間で情報のやりとりを行うための統一規格です。

本機は USB で接続されたパソコンに対して機器の操作情報を MIDI メッセージで出力します。USB MIDI に対応した DJ ソフトウェアの方で本機が出力する MIDI メッセージをあらかじめアサインすると、本機で DJ ソフトウェアをコントロールできます。本機が出力するメッセージについては「MIDI メッセージ一覧」(P.60) をご覧ください。

■ ノーマルスタイルでのコントロール

1 パソコンに接続する

パソコンと正常に USB 認証されると BROWSE 画面の PC タブがアクティブ表示になります。



2 DJ ソフトウェアを起動する

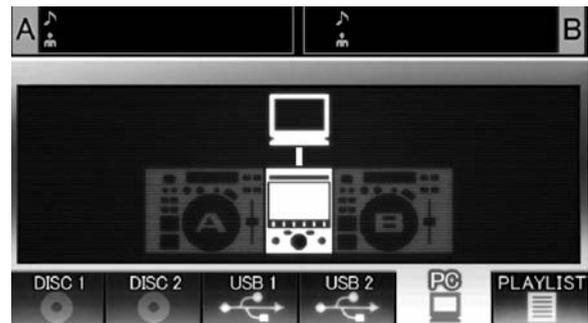
タブ表示に変化はありません。

3 DJ ソフトウェアで本機をオーディオ出力デバイスに設定する

ノーマルスタイルでは本機をオーディオ出力デバイスに設定することにより、DJ ソフトウェアで再生する曲を本機から出力できます。本機をオーディオ出力デバイスに設定する方法は本機を設定できる DJ ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

4 BROWSE 画面で PC を選択する

DJ ソフトウェアと通信がはじまるとセンターディスプレイの BROWSE 画面が PC コントロール状態を示します。BROWSE 画面表示中はセンターディスプレイ部の MIDI メッセージが出力され、ロータリーセクター、セレクトアップ(◀) / ダウンボタン (▶) を使った DJ ソフトウェアの操作ができるようになります。



5 LOAD A (または B) ボタンを押す

LOAD ボタンを押すとコントローラー A (または B) 部の MIDI メッセージが出力され、コントローラーで DJ ソフトウェアを操作できるようになります。DJ ソフトウェア操作中のコントローラーは BROWSE 画面でハイライト表示になります。



DJ ソフトウェアを使用する

同時にディスプレイ A/B では PC と表示します。



6 コントローラーで DJ ソフトウェアを操作する

ボタン類、ジョグダイヤル、テンポ調整つまみを使って DJ ソフトウェアを操作できます。

☑メモ

- ・ DJ ソフトウェアの方で本機をオーディオ出力デバイスに設定すれば DJ ソフトウェアで再生する曲をドライブユニットから出力します。

7 ディスクや USB ストレージデバイスの再生に切り換える

コントローラー A (または B) で PC をコントロール中、BROWSE 画面でディスクや USB ストレージデバイスの曲を選択し LOAD A (または B) ボタンを押すと、ディスクや USB ストレージデバイスの再生およびコントロールに切り換わりします。

■ マニピュレータスタイルでのコントロール

1 パソコンに接続する

センターディスプレイに PRO DJ ロゴを表示します。



2 DJ ソフトウェアを起動する

DJ ソフトウェアと通信が始まると本機は MIDI コントローラーとして動作し、コントローラー A/B 部およびセンターディスプレイ部のボタン類を MIDI メッセージで出力します。

☑メモ

- ・ センターディスプレイに UTILITY 画面が表示されている間はセンターディスプレイ部の MIDI メッセージは出力されません。

■ MIDI チャンネルの設定

MIDI チャンネルの設定は UTILITY で行うことができます。

1 UTILITY ボタンを押す

2 ファンクション (PC) ボタンを押す

センターディスプレイに MIDI チャンネル設定画面が表示されます。

- ・ コントローラー A とセンターディスプレイ部が同じチャンネル番号で、コントローラー B は別のチャンネル番号

を使用します。(工場出荷時の設定はコントローラー A とセンターディスプレイ部がチャンネル 1、コントローラー B がチャンネル 2 になります。)



3 ロータリーセレクターまたはセレクトダウン (▶) ボタンを押す

▶ が右に移動します。

4 ロータリーセレクターを回転させ値を変更する

1 ~ 16 の設定を選択できます。

5 ロータリーセレクターを押して値を決定する

- ・ セレクトアップ (◀) ボタンを押すと決定されずに UTILITY メニューに戻ります。

MIDI メッセージ一覧

	インタフェース名	インタフェースの種類	メッセージ			備考
			Bn	MSB	dd	
コントローラー-A	JOG DIAL	General Purpose Controller	Bn	10	dd	停止から4倍速の速度に対するリニア値で、停止で64、FWD方向：65 (0.06倍速) ~ 127 (4倍速)・REV方向：63 (0.06倍速) ~ 0 (4倍速)。
	TEMPO ADJUST SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0 ~ 127 -側で0、+側で127
	PLAY/PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0、ON=127
	CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0、ON=127
	SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0、ON=127
	SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0、ON=127
	TRACK SEARCH Next	SW	9n	04	dd	OFF=0、ON=127
	TRACK SEARCH Prev	SW	9n	05	dd	OFF=0、ON=127
	IN/CUE	SW	9n	06	dd	OFF=0、ON=127
	OUT/ADJUST	SW	9n	07	dd	OFF=0、ON=127
	RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0、ON=127
	MEMORY	SW	9n	0A	dd	OFF=0、ON=127
	CALL	SW	9n	0B	dd	OFF=0、ON=127
	TIME/A.CUE	SW	9n	0E	dd	OFF=0、ON=127
	TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0、ON=127
	MT	SW	9n	11	dd	OFF=0、ON=127
	SCRATCH	SW	9n	12	dd	OFF=0、ON=127
	JOG BREAK	SW	9n	13	dd	OFF=0、ON=127
	PITCH BEND +	SW	9n	14	dd	OFF=0、ON=127
	PITCH BEND -	SW	9n	15	dd	OFF=0、ON=127
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0、ON=127	

DJ ソフトウェアを使用する

	インタフェース名	インタフェースの種類	メッセージ			備考
			MSB			
コントロール部	JOG DIAL	General Purpose Controller	Bn+1	10	dd	停止から4倍速の速度に対するリニア値で、停止で64、FWD 方向：65 (0.06倍速) ~ 127 (4倍速)・REV 方向：63 (0.06倍速) ~ 0 (4倍速)。
	TEMPO ADJUST SLIDER	VR	Bn+1	1D	dd	0 ~ 127 -側で0、+側で127
	PLAY/PAUSE	SW	9n+1	00	dd	OFF=0、ON=127
	CUE	SW	9n+1	01	dd	OFF=0、ON=127
	SEARCH FWD	SW	9n+1	02	dd	OFF=0、ON=127
	SEARCH REV	SW	9n+1	03	dd	OFF=0、ON=127
	TRACK SEARCH Next	SW	9n+1	04	dd	OFF=0、ON=127
	TRACK SEARCH Prev	SW	9n+1	05	dd	OFF=0、ON=127
	IN/CUE	SW	9n+1	06	dd	OFF=0、ON=127
	OUT/ADJUST	SW	9n+1	07	dd	OFF=0、ON=127
	RELOOP	SW	9n+1	08	dd	OFF=0、ON=127
	MEMORY	SW	9n+1	0A	dd	OFF=0、ON=127
	CALL	SW	9n+1	0B	dd	OFF=0、ON=127
	TIME/A.CUE	SW	9n+1	0E	dd	OFF=0、ON=127
	TEMPO RANGE	SW	9n+1	10	dd	OFF=0、ON=127
	MT	SW	9n+1	11	dd	OFF=0、ON=127
	SCRATCH	SW	9n+1	12	dd	OFF=0、ON=127
	JOG BREAK	SW	9n+1	13	dd	OFF=0、ON=127
	PITCH BEND +	SW	9n+1	14	dd	OFF=0、ON=127
	PITCH BEND -	SW	9n+1	15	dd	OFF=0、ON=127
JOG TOUCH	SW	9n+1	20	dd	OFF=0、ON=127	
センターディスプレイ部	ロータリーセレクトター	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	98 ~ 127、1 ~ 30 (±1 ~ ±30) 前回からの差分のカウンタ値を転送。±30以上の場合は±30とする。
	SELECT DOWN (>)	SW	9n	31	dd	OFF=0、ON=127
	SELECT UP (<)	SW	9n	32	dd	OFF=0、ON=127
	ロータリーセレクトター PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0、ON=127
	LOAD A	SW	9n	34	dd	OFF=0、ON=127
	LOAD B	SW	9n	35	dd	OFF=0、ON=127
	BROWSE	SW	9n	36	dd	OFF=0、ON=127
	MIX	SW	9n	37	dd	OFF=0、ON=127
	EFFECT	SW	9n	38	dd	OFF=0、ON=127
	F1	SW	9n	39	dd	OFF=0、ON=127
	F2	SW	9n	3A	dd	OFF=0、ON=127
	F3	SW	9n	3B	dd	OFF=0、ON=127
	F4	SW	9n	3C	dd	OFF=0、ON=127
	F5	SW	9n	3D	dd	OFF=0、ON=127
F6	SW	9n	3E	dd	OFF=0、ON=127	

・ n はチャンネル番号

・ 網かけ部分はマニピュレータスタイルでパソコン接続した場合のみ出力されます。ただし、UTILITY 画面表示中は出力されません。

CD-G カラオケを楽しむ

本機では CD-G ディスクを再生し、外部モニター（モニターアウト）に映像を出力してカラオケを楽しむことができます。

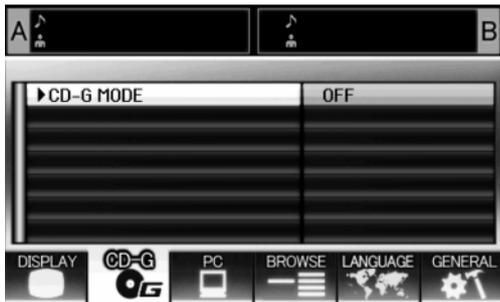
CD-G 再生モードに入る

CD-G ディスクを再生するには、UTILITY で CD-G 再生モードにする必要があります。

1 UTILITY ボタンを押す

2 ファンクション (CD-G) ボタンを押す

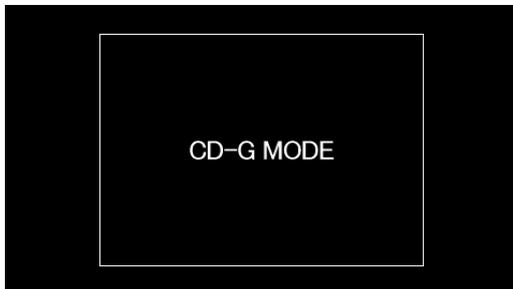
CD-G の設定画面が表示されます。



3 「CD-G MODE」を選択し、セレクトダウン (▶) ボタンを押す

4 ロータリーセクターで「ON」を選択し、押す

LOAD A/LOAD B ボタンが青く点滅し、センターディスプレイに CD-G MODE と表示されます。



✓メモ

- ・ CD-G 再生モード中は UTILITY の LED が赤く点滅し、BROWSE, MIX, EFFECT 画面への切り換えはできません。切り換えるには CD-G 再生モードを終了してください。

CD-G ディスクを再生する

1 LOAD A または LOAD B ボタンを押す

選択されたコントローラーの LOAD ボタンが青い点灯に変わります。

2 LOAD ボタンが点灯している側のドライブに CD-G ディスクを挿入し、再生したい曲を TRACK SEARCH ボタンで選択する

CD-G ディスクの再生を開始し、映像がディスプレイに出力されます。

✓メモ

- ・ LOAD ボタンが点灯している側のコントローラーで再生している CD-G の映像がディスプレイに表示されます。点滅している LOAD ボタンを押すと、押した側のコントローラーで再生している CD-G 映像に切り換わります。
- ・ AUTO CUE を ON にするとトラックサーチしたときに曲の頭でポーズ状態になります。
- ・ コントロールコードがパイオニアの DJ ミキサーと接続されているときは、フェーダースタートでもコントローラー A、コントローラー B の再生を切り換えることができます。

キーコントロール

PITCH BEND ボタンを押すとキーの高さを調節することができます。半音ずつ ± 6 段階で調節できます。

ヴォーカルキャンセル

MASTER TEMPO ボタンを押すとヴォーカル音声を消すことができ、通常の音楽 CD (CD-DA) ディスクでカラオケを楽しむことができます。

音声切り換え

TEMPO レンジボタンを押すたびに、音声出力が切り換わります。

L-R: ステレオ → L: モノラル → R: モノラル

✓メモ

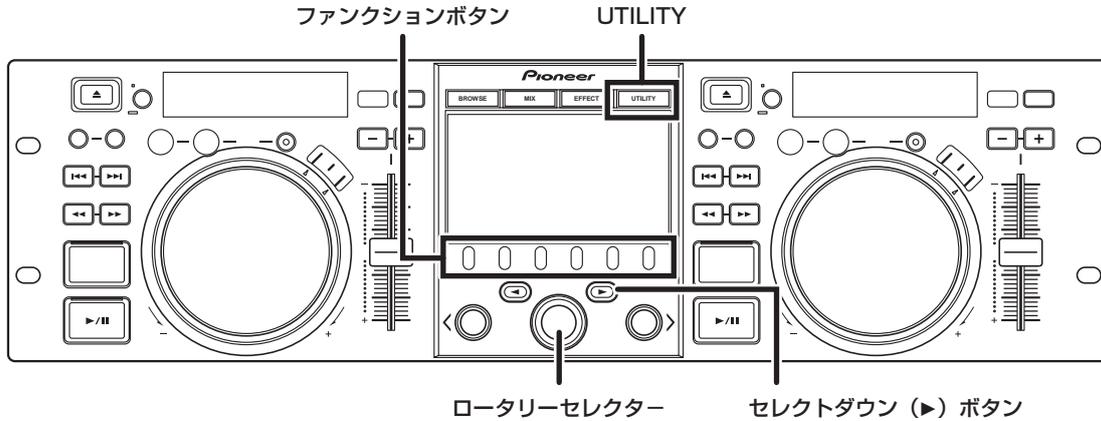
- ・ ドライブ 1 のディスクはコントローラー A、ドライブ 2 のディスクはコントローラー B にセットします。コントローラーの指定はできません。
- ・ CD-G モードでは CD-ROM/DVD-ROM および USB ストレージデバイスからの再生はできません。
- ・ CD-G モードではスクラッチ等の DJ プレイを行うことはできません。
- ・ ディスク再生中に外部モニターに映像を出力します。UTILITY 画面のときは外部出力されません。
- ・ ヴォーカルキャンセルは左右の音を打ち消し合ってヴォーカルを消しています。片方のチャンネルにのみ音声が入っている場合はうまく消えないことがあります。

CD-G 再生モードを終了する

- 1 UTILITY ボタンを押す
- 2 ファンクション (CD-G) ボタンを押す
UTILITY の CD-G 設定画面が表示されます。
- 3 「CD-G MODE」を選択し、セレクトダウン (▶) ボタンを押す
- 4 ロータリーセクターで「OFF」を選択し、押す
CD-G 再生モードを終了します。ディスクが再生中だった場合は再生も止まります。

UTILITY を使う

UTILITY ボタンを押すと UTILITY 画面が表示され、本機の各種設定やライブラリーの作成、ユーザデータのバックアップ等を行うことができます。



設定方法

- 1 「DISPLAY」「CD-G」「PC」「BROWSE」「LANGUAGE」「GENERAL」のうち、設定したい項目をファンクションボタンで選択する
- 2 ロータリーセレクターを回して設定項目にカーソルを合わせる
- 3 セレクトダウン (▶) ボタン、またはロータリーセレクターを押すと、▶ アイコンが右側に移動する
- 4 ロータリーセレクターを回して設定値を変更する
- 5 ロータリーセレクターを押して、設定値を決定する
決定する前にキャンセルしたいときは、セレクトアップ (◀) ボタンを押します。

各種設定

[1] DISPLAY

各種輝度、外部出力の設定を行うことができます。

		工場出荷時
LCD BRIGHTNESS	センターディスプレイの輝度を設定します (5 段階)。	5
OEL BRIGHTNESS	ディスプレイA/Bの輝度を設定します (5 段階)。	5
LED BRIGHTNESS	LEDの輝度を設定します (5 段階)。	5
SCREEN SAVE (*1)	一定時間操作がないとLCDとOELの明るさを落としてディスプレイを保護します。	ON
TV STANDARD	モニターアウトの映像信号方式を設定します。(PAL、NTSC (7.5IRE)、NTSC (OIRE))	NTSC (OIRE)
MONITOR OUT	センターディスプレイの表示を LETTER BOX / FULL SCALE / OFF から選択できます。	OFF

(*1) スクリーンセーブの動作条件について

- ・ 双方のコントローラーに曲がロードされなくなって 5 分以上経過した場合、スクリーンセーブが動作します。
- ・ 双方、もしくは片方がポーズ状態 (キュー待機、END 表示時も含む) で 100 分以上ボタン操作が行われない場合スクリーンセーブが動作します。
- ・ ノーマルスタイル、マニピュレータスタイル問わず、スクリーンセーブの設定が可能です。
- ・ コントローラーに DJS 以外の DJ ソフトウェアの曲がロードされている場合はスクリーンセーブは動作しません。
- ・ スクリーンセーブ中、ボタンを押す、ディスクを挿入するなど、なにかしらの操作を行うと、スクリーンセーブは解除されます。

UTILITY を使う

[2] CD-G

CD-G カラオケモードに入ることができます (P.62)。

[3] PC

MIDI チャンネルの設定を行うことができます (P.59)。

[4] BROWSE

ブラウスタイプの設定およびライブラリーの作成を行うことができます。

		工場出荷時
BROWSE TYPE (USB1)	リア側の USB ストレージデバイスのブラウスタイプを設定します。	LIBRARY
BROWSE TYPE (USB2)	フロント側の USB ストレージデバイスのブラウスタイプを設定します。	LIBRARY
LIBRARY (USB1)	リア側の USB ストレージデバイス内にライブラリーを作成します。(*2)	
LIBRARY (USB2)	フロント側の USB ストレージデバイス内にライブラリーを作成します。(*2)	

(*2)P.66「ライブラリーを作成する」を参照してください。

■ブラウスタイプを設定する

BROWSE TYPE を選択し、作成したライブラリーを使用するかどうかを USB ストレージデバイスごとに設定できます。

LIBRARY	USB ストレージデバイス内にライブラリーが見つかった場合、ライブラリーブラウズでブラウズします。
NORMAL	ライブラリーを使用せずにファイルブラウズでブラウズします。

☑メモ

- ・ BROWSE TYPE の変更は設定変更後に挿入された USB デバイスに対して反映されます。使用中の USB ストレージデバイスのブラウズ方式を変更したい場合は、設定変更後一度取り外し、再接続してください。

[5] LANGUAGE

言語設定ができます。

		工場出荷時
LANGUAGE	表示言語を 10 カ国語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、オランダ語、ロシア語、ポルトガル語、簡体中国語、日本語) から選択できます。	日本語

[6] GENERAL

「LOAD LOCK」等の各種設定や、ユーザデータのバックアップなどを行うことができます。

		工場出荷時
LOAD LOCK(*3)	プレイ中は LOAD ボタンを押してもロードできないように設定できます。	OFF
<A>AUTO CUE LEVEL	コントローラー A の AUTO CUE LEVEL (8 段階) を設定します。	-60dB
AUTO CUE LEVEL	コントローラー B の AUTO CUE LEVEL (8 段階) を設定します。	-60dB
KEYBOARD LANGUAGE	キーボードの対応入力言語を 11 カ国語 (米国、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、オランダ、ロシア、ポルトガル語、中国簡体字、日本) から選択できます。	日本
BACKUP MODE(*4)	キューやプレイリストのバックアップを行います。	
VERSION INFO	本機のバージョンを表示します。	

(*3) コントローラーに DJS 以外の DJ ソフトウェアの曲がセットされているときは LOAD LOCK 機能は動作しません。

(*4) P.66「ユーザデータをバックアップする」を参照してください。

ライブラリーを作成する

本機では USB ストレージデバイスに記録された大量の曲にライブラリーを作成することで、曲をアルバム、アーティスト、ジャンルで分類し、スムーズな選曲をアシストします。ライブラリーの作成 / 更新 / 削除は UTILITY で行います。

メモ

- ・ファイル数が多くなるほどライブラリーの作成 / 更新時間は長くなります。(作成時間の目安：5000 ファイルで約 30 分。ただし一つのフォルダ内に大量のフォルダやファイルが入れられている場合は非常に時間がかかる場合があります。)
- ・パソコンを使うと、より速くライブラリーを作成できます。作成ソフトウェアは下記の Web サイトからダウンロードしてください。
<http://www.prodjnet.com/support/>

- 1 ライブラリーを作成する USB ストレージデバイスを USB1/USB2 端子に挿入する
- 2 UTILITY 画面で「BROWSE」を選択し、「LIBRARY(USB1)」 / 「LIBRARY(USB2)」のうちライブラリーを作成するデバイスを選択してセレクトダウン (▶) ボタンかロータリーセクターを押す

メモ

- ・曲が再生されている状態ではライブラリーの作成 / 更新 / 削除は行えません。

- 3 ロータリーセクターで「CREATE」、「UPDATE」、「DELETE」、「CANCEL」のうちいずれかを選択し、ロータリーセクターを押す

CREATE	ライブラリーを作成します。
UPDATE	USB ストレージデバイスに存在するライブラリーと比較して、差異があればライブラリーを更新します。
DELETE	USB ストレージデバイス内のライブラリーを削除します。
CANCEL	UTILITY メニューに戻ります。

- 4 画面が切り換わり、選択した処理が開始される。「Done」と表示されたら処理完了
処理が完了したら接続されているすべてのUSBストレージデバイスを接続し直してください。

メモ

- ・途中で処理を中断したい場合は UTILITY ボタンを 1 秒以上押してください。
- ・最大15万曲のライブラリーを作成することができます。
- ・ライブラリーは USB ストレージデバイス内の PIONEER(HFS+ の場合は .PIONEER) フォルダ内に作成されます。
- ・UPDATE では削除および追加された曲の情報を更新します。修正された曲情報は更新されません。曲情報を更新するにはパソコン用ライブラリー作成ソフトウェアをご使用ください。

注意

- ・ライブラリーを作成するには一曲当たり数百 Byte ~ 約 1KByte の空き領域が USB ストレージデバイスに必要です。
- ・UPDATE には一曲当たり約 2KB の空き領域が USB ストレージデバイスに必要です。

ユーザデータをバックアップする

本機の内部メモリーに記憶しているプレイリストデータやディスクのキュー / ループポイントデータを USB ストレージデバイスを使用して別の MEP-7000 にコピーすることができます。すべてのディスク、USB ストレージデバイスが挿入されていない状態で始めてください。

■ USB ストレージデバイスへのデータ書き出し

- 1 UTILITY ボタンを押す
- 2 ファンクション (GENERAL) ボタンを押す
- 3 ロータリーセクターを回して「BACKUP MODE」を選択し、セレクトダウン (▶) ボタンまたはロータリーセクターを押す
- 4 ロータリーセクターを回して、「Write to USB」を選択し、ロータリーセクターを押す
- 5 「Connect a USB storage device to the USB port.」と表示されるので、USB ストレージデバイスを挿入する
- 6 データ書き出しが始まる
「Done」と表示されると完了し、その後 UTILITY 画面に切り替わります。

メモ

- ・USB ストレージデバイスのルートディレクトリーに BACKUP.BIN という約 1.5MByte のファイルが作成されます。

■ USB ストレージデバイスからデータの読み込み

- 1 UTILITY ボタンを押す
- 2 ファンクション (GENERAL) ボタンを押す
- 3 ロータリーセクターを回して「BACKUP MODE」を選択し、セレクトダウン (▶) ボタンまたはロータリーセクターを押す
- 4 ロータリーセクターを回して、「Read from USB」を選択し、ロータリーセクターを押す
- 5 「Connect a USB storage device to the USB port.」と表示されるので、USB ストレージデバイスを挿入する
- 6 データ読み込みが始まる
「Done」と表示されると完了し、その後 UTILITY 画面に切り替わります。

メモ

- ・ キューポイント/ループポイントの書き出し、読み込みは本機に記憶するディスクメディアの曲が対象です。

ご注意

- ・ 本機内のデータは上書きされますので、以前に記憶していたデータは完全に消去されます。

設定を工場出荷状態に戻す

本機は UTILITY(P.64) の設定を工場出荷状態に戻すことができます。同時に TIME/REMAIN、A.CUE、TEMPO RANGE の状態も工場出荷状態 (REMAIN、OFF、10 %) に戻されます。

- 1 UTILITY ボタンを長押ししながら電源を入れる
5 秒以上押し続けます。
- 2 メッセージを確認する
起動画面後に「The settings have been reset to factory defaults.」と表示します。
- 3 電源を再投入する

メモ

- ・ この操作で工場出荷状態に戻しても記憶したキュー / ループポイント情報やプレイリストは消去されません。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障とされています。また、本システム以外の原因も考えられます。同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。

下の項目をチェックしても直らない場合はお買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症 状	考えられる原因	処 置
EJECT (▲) ボタンを押してもディスクが取り出せない。	・電源コードが繋がっていない。	・電源コンセントへつないでください。
	・曲を再生している。	・ポーズまたはキュー待機状態にしてから EJECT (▲) ボタンを押してください。
	・ EJECT (▲) ボタンが機能しない。	・ 24 ページをご覧ください。
ディスクを入れても演奏が始まらない。	・オートキュー機能がオンしている。	・プレイ/ポーズ (▶/■) ボタンを押して演奏を始めてください。
	・ CD-R/RW, DVD ± R/RW 等の記録品質が良好でない。	・ TIME/A.CUE ボタンを 1 秒以上押しつけて、オートキュー機能をオフにしてください。
	・フォーマットが対応していない。	・他種のメディア、又は他の記録機で作成したメディアと交換してください。
演奏をはじめてもすぐに停止してしまう。	・ディスクの表と裏を逆にして装着している。	・レーベル面を上にして装着してください。
	・ディスクのくもりなど。	・ディスクのくもりをふき取ってください。
USB ストレージデバイスが認識されない。	・USB マスストレージクラス以外のデバイスを使用している。	・USB マスストレージクラスのデバイスを使用してください。(イメージデバイスに属する一部の携帯オーディオプレーヤには対応していません。また一部のフラッシュカードリーダーは認識できない場合があります。)
	・USB ハブを使用している。	・USB ハブによっては正常に動作しない場合があります。別の USB ハブをご使用いただくか、USB 端子に直接デバイスを接続してください。また USB ハブを介して複数の USB ストレージデバイスを接続している場合、一つのデバイスのみ認識されます。
	・フォーマットが対応していない。	・本機が対応している FAT, FAT32, HFS+ でフォーマットされたデバイスを使用してください。
センターディスプレイに「過電流が発生しました。」を意味するコーションが表示される。	・本機の USB1 端子、または USB2 端子に許容量以上の電流が流れたために本機との通信が遮断された。	・本書「■ USB ストレージデバイスの取り付け方」(P.26) のご注意に従い、正常に復旧させてください。本機の定格(許容量)は 1 ポートあたり 500mA 以下です。定格を満たす USB ストレージデバイスを使用してください。バスパワータイプの USB ハブを介した USB ストレージデバイスの接続を行っている場合はその USB ストレージデバイスを本機に直接接続して使用ください。
MP3, AAC等の曲が演奏できない。	・フォーマットが対応していない。	・「本機で再生できるディスク/ファイルについて」(P.11) の対応フォーマットを参照してください。
	・ファイルに著作権保護がかかっている。	・本機では使用できません。

故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	処 置
音が出ない。	・ 出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。	・ 正しく接続してください。
	・ DJ ミキサーを正しく操作していない。	・ DJ ミキサーのスイッチ類と音量調整を確認してください。
	・ 接続のための端子やプラグが汚れている。	・ 汚れをふき取ってから接続してください。
	・ コントローラーがポーズ状態になっている。	・ プレイ/ポーズ(▶/■) ボタンを押して、演奏を始めてください。
音が歪む、雑音が出る。	・ 出力コードが正しく接続されていない。	・ DJ ミキサーのライン入力端子へ接続してください。マイク端子へは接続しないでください。
	・ 接続のための端子やプラグが汚れている。	・ 汚れをふき取ってから接続してください。
	・ テレビからの影響を受けている。	・ テレビの電源を切ってください。または、本機とテレビを離してください。
特定のディスクで大きなノイズが出る。演奏が中断してしまう。	・ ディスクに大きなキズやそりがある。	・ ディスクを交換してください。
	・ ディスクが極端に汚れている。	・ ディスクの汚れをふき取ってください。
演奏中に曲がロードできない。	・ LOAD LOCK の設定が ON になっている。	・ UTILITY で LOAD LOCK の設定を OFF にしてください。
オートキュー機能をオンにしている、トラックサーチが終了しない。	・ 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くなる場合がある。 ・ 10 秒以内にサーチできない場合、トラックの頭がキューポイントに設定される。	・ TIME/A.CUE ボタンを 1 秒以上押しつづけて、オートキュー機能をオフにしてください。
ジョグダイヤルが希望の機能と違う動作をする。	・ ジョグモードが違う。	・ SCRATCH/JOG BREAK ボタンを押して希望の機能を選んでください。
演奏中に CUE ボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	・ キューポイントを設定していない。	・ キューポイントを設定してください。(P.39)
OUT/ADJUST ボタンを押してもループプレイにならない。	・ キューポイント(スタートポイント)を設定していない。	・ キューポイントを設定してください。
オートキュー等の設定が記憶されない。	・ 設定変更後、すぐに電源を切った。	・ 設定変更後、10 秒程度待ってから電源を切ってください。
USB ストレージデバイスの曲のキュー/ループポイントがメモリーできない。	・ USB ストレージデバイスに十分な空き容量がない。	・ USB ストレージデバイスに十分な空き容量を作ってください。
記憶した USB ストレージデバイスのキュー/ループポイントが表示されない。	・ USB ストレージデバイスの停止処理を行わずに取り外した、または本機の電源を切った。	・ USB ストレージデバイスの停止処理を行ってから取り外す、または本機の電源を切ってください。
プレイリストの曲がグレイアウトされたままになってしまう。	・ 登録した曲が書かれているディスク、USB ストレージデバイスが接続されていない。	・ 登録した曲が書かれているディスク、USB ストレージデバイスを接続してください。
	・ 登録した曲が USB ストレージデバイスから削除された。 ・ 登録した曲のファイル名が変更されていたり、場所が移動された。	・ ファイル名を変更したりファイルが書かれている場所を変更したあとは、再度プレイリストに登録してください。
	・ USB ストレージデバイスの停止処理を行わずに取り外した、または本機の電源を切った。	・ USB ストレージデバイスの停止処理を行ってから取り外す、または本機の電源を切ってください。
USB ストレージデバイスの曲をプレイリストに登録できない。	・ USB ストレージデバイスに十分な空き容量がない。	・ USB ストレージデバイスに十分な空き容量を作ってください。

故障かな？と思ったら

症 状	考えられる原因	処 置
キーボード入力が正しく行えない。	・ KEYBOARD LANGUAGE の設定が正しくない。	・ UTILITY の KEYBOARD LANGUAGE の設定を適切な国に設定してください。
	・ 本機が対応している 11 カ国以外のキーボードを使用している。	・ 本機が対応しているキーボードを使用してください。
MP3、AAC などの曲情報の文字がおかしい。	・ LANGUAGE の設定が正しくない。	・ 本機の UTILITY 画面で LANGUAGE を適切な言語に設定してください。
	・ DJ ソフトウェアで作成した音楽ファイルの曲情報が、本機で対応しない言語である。	・ 本機で表示できる言語でファイル情報を記述してください。本機は西欧言語、ロシア語、簡体中国語、日本語の文字を表示できます。
	・ 本機の曲情報が、接続する DJ ソフトウェアで対応されていない言語である。	・ DJ ソフトウェアの言語の対応範囲については、そのソフトウェアの取扱説明書をご確認ください。
m3u ファイル内の曲がロードできない。	・ m3u ファイルが正しく記述されていない。	・ m3u ファイルが正しく記述されているか確認してください。
パソコンに接続しても本機が認識されない。(ノーマルスタイル)	・ パソコンにドライバソフトウェアが正しくインストールされていない。 本機がパソコンと正常に接続され通信できていないと、バージョン表示ユーティリティで本機のファームウェアが表示されません。確認方法は「ドライバソフトウェアについて ■ ドライバソフトウェアのバージョン確認」(P.54) をご覧ください。	・ ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール済の場合は一度アンインストール後、再度インストールしてください。
	・ コントロールユニットにパソコンを接続している。	・ ノーマルスタイルではドライブユニットにパソコンを接続してください。
パソコンに接続しても本機が認識されない。(マニピュレータスタイル)	・ パソコンにドライバソフトウェアが正しくインストールされていない。 本機がパソコンと正常に接続され通信できていないと、バージョン表示ユーティリティで本機のファームウェアが表示されません。確認方法は「ドライバソフトウェアについて ■ ドライバソフトウェアのバージョン確認」(P.54) をご覧ください。	・ ドライバソフトウェアをインストールしてください。インストール済の場合は一度アンインストール後、再度インストールしてください。
	・ USB 補助電源ケーブルが接続されていない。	・ USB 補助電源ケーブル、USB ケーブルの順にパソコンと接続してください。
テレビの画面が乱れる、FM 放送に雑音が入る。	・ 本機が影響している。	・ 本機の電源を切るか、テレビから離してください。
電源 ON の状態でディスクが停止している。	・ ポーズ状態で 100 分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止する。 ・ ディスクの最終曲を終了すると、ディスクの回転を停止する。	・ プレイ/ポーズ (▶/⏸) ボタンを押して演奏を始めてください。または、EJECT (▲) ボタンを押してディスクを出してください。

- ・ 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- ・ 本機は CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW、DVD ± R 二層ディスクの未ファイナライズディスク (パーシャルディスク) の再生はできません。
- ・ 本機は一般の 12 cm ディスク以外の異形ディスクの再生はできません。(故障・事故の原因になることがあります。)
- ・ 本機で測定した BPM 値が CD の記載値、もしくは当社の DJ ミキサー等と異なる場合がありますが、これは BPM の測定方法などが違うためであり故障ではありません。

液晶画面について

- ・液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点（輝点）が出る場合があります。これは液晶特有の現象で故障ではありません。
- ・寒いところでお使いになるときは、電源を入れたあと、しばらく画面が暗いことがあります。時間がたつと正常な明るさに戻ります。
- ・液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

OEL(有機EL)画面について

- ・ディスプレイ A/B の双方の画面で色合いが違って見える場合がありますが、故障ではありません。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出たときや、処置しても同じエラーコードが出る場合には、お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	対象メディア	エラー内容	原因と処置
E-6002	オーディオ DSP ダウンロード エラー		電源を入れたとき、オーディオ DSP にプログラムを書き込めない。	お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。
E-7201	TOC リード エラー	DVD/CD	TOC データをディスクから読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクにひび割れがあるときは、ディスクを交換してください。 ・ディスクが汚れているときは、ディスクをクリーニングしてください。 ・他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
E-8301	停止エラー	DVD/CD	正常にディスクを停止できない。	お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。
E-8302	再生エラー	DVD/CD	<ul style="list-style-type: none"> 所望のアドレスをサーチできない。 アドレスが読めない。 フォーカスサーボがクローズできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクにひび割れがあるときは、ディスクを交換してください。 ・ディスクが汚れているときは、ディスクをクリーニングしてください。 ・他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
			ピックアップが移動できない。	
E-8303	バッファ書き込みエラー	DVD / CD / USB	音楽データのバッファ書き込みに失敗した。	お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。
E-8304	デコードエラー	DVD / CD / USB	圧縮系音楽ファイル (MP3/AAC) は本機に対応されたフォーマットだが、データエラー、またはデコード (伸張) エラーになった。	お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。
E-8305	フォーマットエラー	DVD / CD / USB	音楽ファイル (MP3/AAC/WAV/AIFF) のファイル拡張子は正しいが、ファイル内の記述が対応されたフォーマットでない。	規定のフォーマットに従ったディスク、またはファイルに交換してください。

故障かな?と思ったら

E-8306	音楽ファイルなし	USB	ライブラリー(データベース)、プレイリストなどに曲を登録していたが、再生する時点でその曲がUSBストレージでデバイスから削除されていた。	USB ストレージでデバイスから音楽ファイルを削除しないでください。
E-9101	ローディングタイムアウト	DVD/CD	ディスクローディングまたはアンローディングでメカエラー(タイムアウト)になった。	ディスク挿入部に異物が入っているときは、異物を取り除いてください。

本機のアップデートについて

本機は仕様および性能改善のためソフトウェアの更新を行う場合があります。詳しくは下記のサポートサイトを参照してください。

<http://www.prodjnet.com/support/>

ソフトウェア制限事項一覧

対応デバイス	ディスクメディア	ディスクは ISO9660 ファイルシステムで記録されたものに対応しています。UDF ファイルシステムで記録した場合、ISO9660 ファイルシステムがあわせて記録されていないディスクは再生できませんのでご注意ください。(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。)
		ディスクメディアはディスク当たり 2 000 フォルダを超えるフォルダ、3000 ファイルを超えるファイルは表示できません。
		フォルダ階層は最大 8 階層まで対応しています。8 階層を超えるフォルダ中のファイルは表示できません。
		ディスクに書かれている WAV/AIFF ファイルには対応していません。
	USB ストレージデバイス	フォルダ内に 10 000 を超えるフォルダは表示できません。フォルダ内に 10 000 を超えるファイルは表示できません。
		フォルダ階層は最大 8 階層まで対応しています。8 階層を超えるフォルダ中のファイルは表示できません。
		GUID パーティションマップの MacOS 標準フォーマットには対応していません。
		Mac 拡張フォーマットの「大文字 / 小文字を区別」を設定してフォーマットされた USB ストレージデバイスは正常に認識しない場合があります。
ジャケット写真	画像をジャケット写真として表示するには jpeg 形式である必要があります。ただし元画像 800x800dot を超えるものは表示できません。	
	ID3 タグに画像が埋め込まれている場合、またはフォルダ内に画像ファイルが見つかった場合、画像をジャケット写真として ID3 情報と一緒に表示します。両方あった場合は ID3 タグに埋め込まれている画像を優先します。	
m3u ファイル	1 デバイスあたり 100 個までの m3u ファイルを表示することができます。	
	1 つの m3u ファイルあたり最大 300 曲まで表示することができます。ただし、ファイルサイズが 308 000 Byte を超えていた場合、超えている曲は表示できません。	
	作成したデータベースを使ってブラウズする場合は、m3u ファイルは表示されません。	
	ディスクの場合、ショートファイル名で記述されているものには対応していません。	

故障かな?と思ったら

MIX		ノーマルスタイルでは DJ ソフトウェアの曲を MIX できません。またマニピュレータスタイルでは DJ ソフトウェアに依存します (付属の DJS は MIX 機能に対応します)。
EFFECT		ノーマルスタイルでは DJ ソフトウェアの曲に EFFECT をかけられません。またマニピュレータスタイルでは DJ ソフトウェアに依存します (付属の DJS は EFFECT 機能に対応します)。
プレイリスト		音楽 CD (CD-DA) の曲、DJS の曲はプレイリストに追加できません。
		1つのプレイリストに登録できる曲は最大 150 曲です。プレイリストが一杯だったときはそれ以上追加できません。
		USB デバイスに十分な空き容量がない場合は、そのデバイス内の曲をプレイリストに追加できません。
		フォルダを指定してまとめてプレイリストへ曲を追加する場合、データベースがないとタイトル、アーティスト名ではなくファイル名でプレイリストへ登録されます。
表示できる最大文字数	ライブラリーブラウズ	タイトル: 63 文字、アルバム名: 47 文字、アーティスト名: 47 文字、ジャンル名: 29 文字
	ファイルブラウズ	フォルダ名、ファイル名: 63 文字
	CD-TEXT	1byte 文字 ASCII 等: 92 文字、2byte 文字 MS-JIS 等: 80 文字
	プレイリスト	登録時 タイトル: 63 文字、アーティスト名: 47 文字 再起動後 タイトル: 49 文字、アーティスト名 29 文字
	ID3 情報	タイトル: 92 文字、アルバム名: 47 文字、アーティスト名: 47 文字、ジャンル名: 29 文字
キューポイント/ループポイントメモリー		ディスクのメモリー情報は最大 2 000 枚分 (ディスク当たりのキューポイント数が 10 個以内のとき) 内蔵フラッシュメモリーに記憶することができます。内蔵フラッシュメモリーが一杯になると使用頻度の低いディスクの情報に上書きします。
		USB ストレージデバイスに十分な空き容量がない場合は、そのデバイス内の曲のメモリーはできません。
ライブラリー		最大 15 万曲のライブラリーを作成することができます。
		ジャンルは 1000 ジャンルまで表示できます。制限を超えた楽曲はジャンル未設定 (unknown) として表示されます。

保証とアフターサービス

保証書について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」などの記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

- 保証期間について
保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。
- 次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。
- 故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かな?と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

● 保証期間中は

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）にご相談ください。保証書の規定に従って修理いたします。

連絡していただきたい内容

- ご住所 ・ お名前 ・ お電話番号
- 製品名：マルチエンタテインメントプレーヤー
- 型番：MEP-7000
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

● 保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

☑ご注意

- お求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにお持ち込みの場合は、本機一式（ドライブユニット、コントロールユニット、ケーブル）をご用意ください。
- DJソフトウェア「DJS」は保証書に記録されている無料修理等の対象ではありません。DJSをインストールし、あるいはご利用するにあたっては、「ソフトウェア使用許諾契約書」(P.48)の条項をよくお読みください。

免責事項について

- * Pioneer および DJ-S はパイオニア株式会社の登録商標です。
- * Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- * Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。
- * Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- * Apple、Macintosh、Mac OS は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- * ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- * その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされています。
営利的目的での(収益の発生するような)、実際の放送(地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送)、インターネットやイントラネット(企業内ネット)あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム(音楽の有料配信など)のためにはライセンスされておりません。
このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。
詳しくは<http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。



Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG レイヤー 3 によるオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson Multimedia によりライセンス供与されます。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

なお、修理を依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名 ②ご購入日 ③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

<下記窓口へお問い合わせの時のご注意>

市外局番「0120」で始まる ☎ フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

※ DJSに関する相談はP.51に記載のサポートサイトのご利用についてをご覧ください。

■ テクニカルサポートセンター

受付 月曜～金曜 10:00～18:00、土曜・日曜・祝日 10:00～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

▽ DJ機器のご相談窓口 電話（フリーダイヤル） ☎ **0120-545-676**
ファックス **03-3763-9503**

▽ インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※ 商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

■ 部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜 9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル） ☎ **0120-5-81095**

一般電話 **0538-43-1161**

ファックス（フリーダイヤル） ☎ **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

■ 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル） ☎ **0120-5-81028**

一般電話 **03-5496-2023**

ファックス（フリーダイヤル） ☎ **0120-5-81029**

▽ インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※ インターネットによる修理受付対象品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります。

■ 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話 **098-879-1910**

ファックス **098-879-1352**

愛情点検



長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- ・電源コードにさけめやひび割れがある。
- ・電源が入ったり切れたりする。
- ・本体から異常な音、熱、臭いがする。



ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

© 2008 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<DRA1426-B>